

NPO法人フォトカルチャー倶楽部 [コミュニティ情報誌]

フォトライフ

四季

Vol.80
SPRING

春

会員70,969名の皆さんの力で社会貢献しています。

(2012年1月31日現在)

フォトカルチャー倶楽部。

春の思い出 撮って残す

希望の春、 写真の力で記憶する

「Gサミット」 イベント 参加者募集

6月8日はGサミット2012に行く

PCC 会員限定

学び・見せる・出会いの場

「なかま展」 作品募集

秋山庄太郎記念「花」写真コンテスト 2011

写真を見る人が喜ぶ顔を

想い浮かべ写す

365日フォトコンテスト 風景部門・富士山

富士山を撮って応募しよう
賞金・賞品総額100万円相当!



みんなで新しい写真体験を!

フォトカルチャー倶楽部 (PCC) は会員の皆様のご支援で、さまざまな社会貢献・文化貢献・環境保護貢献をしています
美しい地球を写そう! 美しい地球を守ろう! 写真で人の絆を深めて、すべての生き物と共生しよう!

みんなの写真で表紙を飾ろう!
作品投稿お待ちしております。

(応募は→P48)

<http://npopcc.jp>

[フォトカルチャー倶楽部](#) [検索](#)

上の写真:「今年も満開ね」

前田陽一朗さん (愛知県)

毎年撮りにいく神社の桜の前で、祖母と愛犬モコの表情をねらいました。地面すれすれに近いローアングル、近距離から超広角レンズで撮影した作品です。

ゼンザプロニカS2、ニッコール40mmF4、F11、1/60秒、

ベルビア100F、愛知県一宮市(日吉神社)、2009.3.24

「カメラのキタムラフォトコンテスト2009春夏」より

表紙:「桜花光輪」

横田康治さん (高知県)

高知県と愛媛県の県境にある推定樹齢200年の枝垂桜。上部に現れた月輪は、一生に一度見られるか分からない見事さで、畏敬の念を抱かずにはいらませんでした。

ハッセルブラッド500C/M、ディスタゴン50mmF4、

RTP II、高知県仁淀村(現:仁淀川町)

「カメラのキタムラフォトコンテスト2009春夏」より



At the heart of the image

頂点を継ぐ者。

高画質、高速、高精度。そして、操作性と信頼性。

デジタル一眼レフカメラ

D4

N E W



6500万本
NIKKOR

ニコンカスタマーサポートセンター
0570-02-8000

一般電話、公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。営業時間9:30~18:00(年末年始、夏期休業等を除く毎日) ●ナビダイヤルがご利用いただけない場合は、(03)6702-0577におかけください。●ファクシミリでのご相談は、(03)5977-7499へご連絡ください。

www.nikon-image.com | 株式会社ニコン・株式会社ニコン イメージング ジャパン

[POWER OF
PHOTOGRAPH]

写真の力

HASHI (橋村奉臣) 『一瞬の永遠』より

「BIRTH - 誕生 -」

アメリカ、ニューヨーク
写真：HASHI

空気のなかへ跳ね上がるように飛ぶ水滴。今、まさに姿を現した。人の心のなかにある、限りなく純度の高い生命の海から。私達は心ひとつで何度も生まれかわることができる。水面に映るグラスは、昨日までの自分だ。この作品は、そんな私自身の人生における、新たなる「誕生」を記念した作品である。

68年渡米。74年NYにHASHIスタジオ設立、世界の優良企業500社以上に広告写真を提供。近年は芸術作品も制作、東京都写真美術館、国立西洋美術館で個展。作品制作の傍ら2010年プロ育成のための『HASHI 国際写真塾』創設。プロ・アマ問わず、後進育成にも尽力中。www.hashi-ipj.com

※この写真は「フォトライフ四季」ホームページ<http://www.kitamura.jp/photo/shiki/>にも掲載しています



ハッセルブラッドH-1、ハッセルブラッド80MM-F2.8、F22、1/500秒、ニューヨーク、2006、10万分の1秒の特注のライトを使用



【POWER OF
PHOTOGRAPH】
写真の力
『NATIONAL
GEOGRAPHIC』より

©2012 George Steinmetz/
National Geographic



アフリカ東部のアフール低地は、世界でも地質活動が最も活発な場所のひとつ。硫黄と藻類が温泉を鮮やかな色に染め、塩とミネラル成分が緑どる。まるで、ハリウッドの特殊撮影で作り出されたような光景だ。(『ナショナル ジオグラフィック 日本版』2012年1月号より) <http://www.nationalgeographic.jp/>

POWER OF
PHOTOGRAPH

写真の力

みんなで作る『フォトライフ四季』
編集部が選んだ今月の2枚



沈んだ故郷に根づく桜

上：「ダムの上湖に咲く桜」
田中昭三さん（広島県）
貯水ダムで見つけた湖上に咲く桜の老木です。湖底に沈んだ土地の一本桜に生命力を感じ、自然の美しくミステリアスな光景として、深く心に焼きつきました。キヤノンEOS5D Mark II、EF24-105mm、F10、PL、島根県飯南町、2010.4.11
「よみうり風景写真コンテスト2010」より

あなたの忘れられない 「こころの風景」を待っています

全国からの応募数が1万点を超える「よみうり風景写真コンテスト」。誰もが持っているこころの風景を、未来の世代に残し、伝えつづけていくという思いを込めて、入賞した200作品を写真集『こころの風景』（→P34）に掲載しています。一般応募のほか全国約1000店舗のカメラのキタムラ店頭からも応募できます。

龍となり尾根を駆ける山桜

右：「萌黄流し」
吹抜洋美さん（広島県）
急斜面に整然と並んだ杉木立に、先人たちの苦勞がうかがえます。稜線を彩る山桜が今を盛りと咲きほこり、見る人の心を和ませてくれます。ペンタックス645N、400mm、F13、1/8秒、フジクロームベルビア50、PL、奈良県上北山村、2009.4.23
「よみうり風景写真コンテスト2010」より



花に対する思いを表現する **特選**



「春が来た」

門間栄子さん（秋田県秋田市）
ニコンF4s、28-200mm、F5.6、コダックE100VS



「ニリンソウ咲く」

宮岡武さん（埼玉県蕨市）
キヤノンEOS 7D、EF-S15-85mm、F11、1/500秒



「微笑」

深沢有基さん（長野県安曇野市）
キヤノンEOS 7D、EF100mm マクロ、F6.3、1/100秒



「タゲ一点」

大川裕二さん（東京都町田市）
キヤノンEOS 7D、EF70-300mm



「春の喜び」

木村則子さん（東京都練馬区）
ニコンF6、タムロン70-300mm、F16、コダックエリートクローム



「アルストロメリア」

植木勲さん（長野県岡谷市）
キヤノンEOS 5D Mark II、EF24-70mm、F10、1/5秒



「花のブランコ」

島本佳春さん（大阪府豊中市）
ソニーα700、ミノルタアポタレズーム80-200mm、F5.6、1/160秒



「ミニバラ」

山縣直幸さん（広島県広島市）
ニコンD200、105mm、F7.1、1/1500秒



「夢模様」

浦修造さん（兵庫県伊丹市）
ミノルタα9、トキナAT-X PRO 80-200mm、F5.6、1/6秒、フジRYP100



「清流の乙女」

筒井由紀子さん（高知県高知市）
キヤノンEOS 7D、EF-S15-85mm、F16、1/8秒

写真を見る人が喜ぶ顔を 思い浮かべ写す

フォトカルチャー倶楽部（PCC）が主催している「秋山庄太郎記念『花』写真コンテスト」。入選作品を病院や福祉施設などに寄贈するこのコンテストには3,500点近い作品が集まり、前向きな気持ちを起こさせるものが数多く見られました。

入賞作品を寄贈する写真コンテスト

花の撮影に取り組み、全国を「花行脚」して写真愛好家たちと親交を深めた写真家・秋山庄太郎氏。その交流のなかで「アマチュア、畏るべし」との名言を残した。本コンテストは、「全国公募。プロアマ不問。名前だけの協賛・後援は不要。副賞に現金なし。審査は自分だけで公平に行う」と秋山庄太郎氏がそう提案して2002年秋にスタートしました。入賞作品は病院や福祉施設などでも展示され、患者や入所者の方々から好評を得ました。翌年1月に急逝した秋山氏の遺志を受け、2008年まで行われていた同コンテストを、2009年から秋山庄太郎写真美術館の全面的協力を得て、PCCがその理念を引き継ぎ再開しました。



1920年、東京生まれ。紫綬褒章、勳四等旭日章受章。2003年、写真審査会場で倒れ、急逝。享年82。

グランプリ

「^{しずく}雫」 佐藤武男さん（新潟県新潟市）キヤノンEOS-1N、マクロレンズ、ベルビア50

花というものが持つ清楚、可憐、優さ、色気、生気……そのすべてを備え、表現し切った写真です。静謐（せいひつ）な美しさの半面、ともすれば単調になりがちですが、いままでに落ちんとする一滴によって画面に絶妙な緊張感がみなぎりました。静と動の予感、共存のおもしろさが作品の妙味といえそうです。独創的な背景色も上品で個性的でした。（審査員：板見浩史）

グランプリ受賞者より

「秋山庄太郎先生が新潟県の新津で写真教室を開催されていたころからのファンで、たくさん写真集を買い求め、少しでも先生の作品に近づけないかと思い努力してきました。このコンテストでグランプリをいただいたのは夢のようです。まだまだ秋山先生の世界の入り口に入ったばかりですので、これからも精進して振りつけていきたいと思っております」

総評：花への思いを写真に込めて

撮る人の思いを表現する写真を

前田晃氏
写真家
（株）丹溪・写真ギャラリー拓真館代表取締役

このコンテストは今回で3回目を迎え、全国津々浦々から3,500点近い作品が集まり、審査にも熱が入りました。花写真の人気と、その奥深さを改めて感じた次第です。写真は、事象を記録する手段であると同時に、撮る人の思いを表現するものでもあります。入賞作に共通するのは、花に対するそれぞれの思いがよく表現されていたということです。今後とも意欲あふれる作品をお寄せください。

前向きな気持ちを起こさせる写真が入選する

板見浩史氏
公益社団法人日本写真協会（PSJ）理事
フォトカルチャー倶楽部理事

このコンテストの優れた作品は、病院や学校や老人ホームなど、さまざまな施設に寄贈されます。ですから、見る人に生きる元気や前向きな気持ちを起こさせる花の写真優先して選ばせていただきました。写真は撮影者の気持ちが反映されるもの。花を写すときに、写真を見る人の喜ぶ顔を想いながら写せば、きっと人の心を和ませる写真が撮れるはず。そんな写真を応募していただきたいと願っています。

制約をいかに活かすかも写真の醍醐味

上野正人氏
秋山庄太郎写真美術館長

当コンテスト史上最多のご応募をいただき、秋山庄太郎氏の評した通り「有数のコンテスト」となりました。グランプリは、安定感のある抒情的な作品で、背景や滴がさりげなく品のよさを醸し出しています。特選・入選作品は、華麗、静謐、愉しさなどそれぞれ個性的です。秋山庄太郎氏は光源に乏しい病室で、お見舞いの花を絵画調に撮ったりしました。制約の活かし方も、醍醐味のひとつと思います。

トリミングにも注意するとさらによい作品になる **入選**

人の心を和ませる、気持ちのあふれる作品を **入選**



「もうすぐ旅立ち」
藤野良信さん（大阪府寝屋川市）



「艶（つや）めく」
河野純一さん（大阪府大阪市）



「ピンク」
後神輝美さん（大阪府枚方市）



「同輩」
仲秀峯さん（大阪府八尾市）



「美の競演」
鈴木淳子さん（茨城県那珂郡）



「春雪舞う梅郷」
染谷とし子さん（千葉県松戸市）



「夢の花園」
阿部美弥子さん（青森県青森市）



「ポップな気分」
館弘美さん（岩手県盛岡市）



「翁の春」
柏村晴勇さん（山口県山陽小野田市）



「華ちょうちん」
谷山誠四郎さん（兵庫県姫路市）



「わき立つ勇氣」
渡邊翔一さん（奈良県大和郡山市）



「初夏のやまほうし」
重村哲雄さん（山口県山口市）



「チューリップ マーチ」
今関弘明さん（東京都小平市）



「カンゾウの咲く丘」
中村正樹さん（新潟県佐渡市）



「夕暮の丘」
柳沼利行さん（福島県郡山市）



「早春花嵐」
井村敏也さん（茨城県日立市）



「寄り添う」
東海林勇さん（北海道札幌市）



「里山の乙女（ササユリ）」
藤田隆一さん（福岡県北九州市）



「霧雨に咲くオオキツネノカミソリ」
右田稔さん（福岡県糸島市）



「しぼり朝顔」
伊東映子さん（福岡県粕屋市）



「山里の紅梅」
池田豊さん（長野県駒ヶ根市）



「来客」
松下元久さん（静岡県浜松市）



「早春に咲く」
大久保栄俊さん（静岡県浜松市）



「気品」
番場昭子さん（東京都文京区）



「マツムシソウ」
小泉茂さん（愛知県蒲郡市）



「霜の朝」
黒瀬博恭さん（熊本県熊本市）



「阿蘇高原の花『ヒゴタイ』」
清水良夫さん（熊本県熊本市）



「水の妖精」
薬品敏幸さん（神奈川県茅ヶ崎市）



「姉妹」
吉久正さん（東京都品川区）



「希望」
高橋一英さん（宮城県石巻市）



「求愛」
反採祐介さん（北海道釧路市）



「路傍の雅」
鈴木彦三さん（福島県福島市）



「蕎麦の花」
山田信一さん（東京都町田市）



「可憐に立つ春」
川畑一憲さん（鹿児島県鹿児島市）



「秋空へ」
喜入陽明さん（神奈川県横浜府）

佳作

菊地誠一（宮城県石巻市）
鈴木要介（秋田県湯沢市）
富田勝雄（茨城県常陸太田市）
武藤浩子（茨城県常陸太田市）
松本フミ子（栃木県佐野市）
當摩ツネ（栃木県小山市）
根岸正（埼玉県深谷市）
佐久間俊雄（埼玉県本庄市）
神久文江（埼玉県児玉郡）
高田健一（千葉県千葉市）

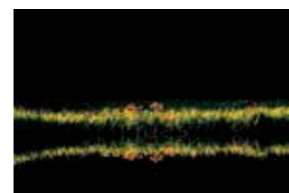
島貫喜重（千葉県野田市）
小俣茂子（東京都杉並区）
川上千鶴子（東京都文京区）
小村さつき（東京都中央区）
渡部貞則（東京都八王子市）
笠原英昭（東京都立川市）
竹内正義（東京都国立市）
神澤栄一（神奈川県横浜市）
松本勝治（神奈川県横浜市）
大島英一（神奈川県藤沢市）

藤江恭平（神奈川県茅ヶ崎市）
内藤健一（神奈川県相模原市）
森下政司（神奈川県秦野市）
上條正博（長野県茅野市）
三膳美江（新潟県新潟市）
鈴木義徳（静岡県浜松市）
藤原園次（静岡県菊川市）
浅井十像（愛知県名古屋）
中村光一（愛知県東海市）
山浦敦寛（愛知県小牧市）

宮崎秀翠（三重県松阪市）
野崎利雄（三重県鈴鹿市）
谷崎進（滋賀県守山市）
北尾均（京都府長岡京市）
菊地葛雄（京都府亀岡市）
浅田広信（大阪府東大阪市）
飯塚紀与子（大阪府枚方市）
坂本昭雄（大阪府枚方市）
大西ひとみ（大阪府寝屋川市）
本田三恵子（大阪府吹田市）

鶴島里子（鳥根県松江市）
倉見千恵子（広島県広島市）
林田弘行（広島県広島市）
川崎美智夫（徳島県鳴門市）
篠原修三（香川県綾歌郡）
雪本信彰（高知県高知市）
日高國治（福岡県北九州市）
伊藤勇剛（福岡県大野城市）
淵上久男（長崎県諫早市）
清水義長（熊本県熊本市）

※敬称は略させていただきました。



「反映」
東山昌弘さん（滋賀県長浜市）



「けなげに（アカヤシオ）」
片山みさ子さん（三重県津市）



「寒椿」
世古満美さん（三重県鈴鹿市）



「梅日和」
松本修一さん（三重県鈴鹿市）

SONY
make.believe



カメラはソニー

想いを解き放つ、
かつてない
一眼クオリティを。



デジタル一眼カメラ

NEX-7

- 有効約2430万画素「Exmor」APS HD CMOSセンサー
- 高解像度XGA有機ELファインダー
- 進化した画像処理エンジン「BIONZ（ビオンズ）」
- 3つのダイヤルで素早く使いたい機能にアクセスできる「Tri-Dial Navi（トライダイヤルナビ）」

○商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。○画像数表記にはCIPAのガイドラインに基づき、有効数字4桁以下を四捨五入しています。○あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。購入の際は、必ず「保証書」の記載事項を確認のうえ、大切に保管してください。○「SONY」、「make.believe」、αおよびαロゴはソニー株式会社の商標です。○「Exmor」、「Exsモア」および「Exmor」はソニー株式会社の商標です。○「BIONZ」、「ビオンズ」および「BIONZ」はソニー株式会社の商標です。○買い物相談窓口（フリーダイヤル）0120-777-886 携帯電話、PHS、一部のIP電話からは、0466-31-2546まで。受付時間 月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 ○カタログを申し込みます。はがきに必ず「NEX-7」カタログ希望と記入し、住所・氏名・電話番号を明記のうえ、〒251-0042 藤沢市辻堂新町3-3-1 ソニーカタログ係へ sony.jp/ichigan-e/

ソニー ミラーレス一眼
カメラシリーズ用

NEW

2カラーで新登場
ブラック/シルバー

軽い、小さい、高倍率。クオリティで応えるニューレンズ。

18-200mm
F/3.5-6.3 DiIII VC

希望小売価格 80,000円(税込 84,000円) 花型フード付

ソニー ミラーレス一眼カメラシリーズ専用レンズ

Model: B011 Color: ブラック/シルバー

DiIII: ミラーレス一眼カメラ専用レンズです。

本製品は、ソニー株式会社とのライセンス契約の下で、ライセンスを受けたEマウント仕様書に基づき開発・製造・販売されています。

株式会社タムロン 映像営業部
〒101-0047 東京都千代田区千代田 2-15-11 翔和神田ビル4F
Tel: 03-3251-3856(代) Fax: 03-3251-3857
<http://www.tamron.co.jp>

TAMRON[®]
産業の眼を創造貢献するタムロン



心が動く瞬間、
いつもそばに。



「Bon Voyage」

生まれも育ちも横浜の私は、子どものころから横浜港へ大型客船を撮りにいくのが好きでした。今でも日本や外国のクルーズ船を中心に撮影をしています。出航の臨場感を出したいと、あえてスローシャッターで撮ったものが「Bon Voyage」。震災で外国客船が減った時期もありましたが、写真を通して日本は安全だということアピールしていきたいと思い撮影しました。

PCCで写真教室の講師をしていると、受講生が持ってくる作品に教えられることも多く、「教えることによる学び」を実感することができました。

これから写真がうまくなりたいと思っている人は、たくさん撮る、写真展に出向きたい写真作品をじかに見る、写真教室などで積極的に学ぶ、を心がけてほしいです。それを多くこなした人ほど上達が早いですね。



「称名寺の春」
称名寺境内の池に咲いた桜と真っ赤な橋とのコントラストをとらえた作品



「さくら・花情」
枝垂桜をモノクロで表現しています

ほかにもまだある PCC 会員の腕自慢

「フォトライフ四季」では、PCC会員の皆さんの作品を募集しています。次号のテーマは「夏」。応募はP.48



「伊豆沼の日の出」伊藤利喜雄さん



「咲き競うローズガーデン」松井寛さん



「共生」東敬朗さん

今月のいぶし銀
岡野清人さん



PCC 会員の
腕自慢

春風満帆

PCC 会員から寄せられた、さまざまな春の情景。桜や花の色彩豊かな風景や、船出の光景に復興の願いを込めた作品。今月はフォトインスタラクター・岡野清人さんにスポットを当て、写真を撮るきっかけや、人に写真を教えることの楽しさと学びをうかがいました。

撮影機材&持ち物リスト



【カメラボディ】 キヤノン EOS-1D Mark IV、キヤノン EOS 5D Mark II
 【交換レンズ】 キヤノン EF28-300mm F3.5-5.6L IS USM、キヤノン EF24-105mm F4L IS USM、キヤノン EF70-200mm F2.8L IS II USM
 【その他】 スピードライト580EX II (×2台)、コンパクトバッテリーパックCP-E3、CFカード数枚、小型のノートパソコン、USB型データ通信カード、携帯電話、折り畳み傘、読売新聞社の腕章、東京写真記者協会のバッジ、国会記者記事などの各種身分証明書、名刺(箱入り)など。
 ※写真部ではキヤノン製とニコン製のカメラを使用しています

プロの金言

相手の気持ちを最優先して撮影する

「人物を撮影するとき大切なのは、撮り急がないということ。僕はいつも相手の気持ちを最優先に考えて、コミュニケーションをとることを心がけています。こちらの都合を押しつけて、写真を撮ることだけを目的にしまうと、いい表情を引き出せないのでからね。だから取材では、最初はカメラを持たずに相手の話にじっくり耳を傾け、その後で取材目的を説明して、写真を撮らせてほしいとお願いするようにしています」



「新聞カメラマン」松本さんの

必携アイテム

単焦点超望遠レンズ

スポーツ撮影では、超望遠レンズが欠かせません。東京ドームで行われるプロ野球の場合、400mm、800mmに焦点距離を1.4倍に伸ばすテレコンバータをつけて撮影しているとか。どちらのレンズも、本体ボディに装着すると、総重量は5kgを超えます。これでも昔と比べると軽くなったそうです。



高倍率ズームレンズ

EOS-1Dに28 - 300mmの高倍率ズーム、EOS 5Dに16 - 35mmの広角ズームを装着するのが、松本さんのスタイル。この2本があれば、ほとんどのケースでレンズ交換の必要がなく、取材に集中できるといいます。ちなみに、車での移動中は、EOS 5D Mark IIをつねに体の近くに置いてあります。



小型パソコン・通信機器・携帯

小型のノートパソコン、USB型データ通信カード、携帯電話は、取材活動に欠かせない三種の神器。速報性が求められる新聞カメラマンは、現場で原稿を書き、写真をパソコンに取り込んで新聞社に送らなければなりません。ときには写真の加工を行うことも。ポケットには小さいメモ帳もしのばせています。



今を撮りつづける松本さん。真実を伝えるその眼差しは鋭くも、やさしさがうかがえる



現在「写旬」では東日本大震災後の今を伝えています。その写真は人々のぬくもりや力強さが伝わってきます。組写真でわかりやすく伝えることも腕のひとつです。



腕章
 すべての腕章を番号で管理するほど大切なもの。失くさないよう、カメラのストラップにつけています

カメラバッグ
 機動性重視でなるべくコンパクトなものを使用。両手が自由になることも重要

脚立
 必須アイテムだという脚立。撮影はもちろん、撮影場所の確保や簡易ベンチにも

思い出シリーズ1

思い出をつくる
 道具たち

読売新聞東京本社写真部の松本剛さんの仕事場にお邪魔して、「新聞カメラマン」の仕事の様子や心構え、愛用の撮影機材についてお話をうかがいました。

Vol.4 松本剛さん

刻々とかわる状況を撮り逃さないために

新聞社のカメラマンは何でも撮影できなければつとまらない

機材はなるべく軽くして、機動性を高めたい

さっそく機材を拝見。ところが松本さんは、なぜか戸惑いの表情を浮かべています。その理由をうかがってみると、

「僕たち新聞社のカメラマンの場合、撮影機材の選択は、取材対象や目的によってまったくかわってくるんです。僕は「写旬」の他に、事件や事故を取材することや、国会や首相官邸を訪ねたり、芸能人のインタビューを撮影したりすることもあります。その他にも、たとえばスポーツの撮影をする場合には、超望遠レンズと連写性能が高いEOS 1D Mark IVが欠かせませんし、事件や事故の場合は機動性のあるEOS 5D Mark IIと高倍率ズームのコンパクトな組み合わせが必要になることもあるんです」

なるほど。オールマイティに撮影をこなし、専門を持たないのが「新聞カメラマン」の特徴なんです。いいかえればなんでも撮影することができなければ取材記者はつとまらないということなのでしょう。

「僕たちは、決められたものを撮ることよりも、刻々とかわる状況のなかで、予測のできないものを撮ることのほうが多いんです。その大切な一瞬を撮り逃さないために、レンズ交換はできるだけしないようにしています。レンズを交換したり、ファインダーから目を離したりして、シャッターチャンス逃がすことになりやすからね」

松本さんが通常の撮影で好んで使っているのが、28 - 300ミリの高倍率ズームレンズなのにも理由が？

「焦点域の広いズームレンズは、

どんなケースにも即対応できるので、便利なんです。高倍率ズームは取材活動において最大公約的なレンズだと思って使っています」

移動中もカメラはつねに体の近くに置いておく

最後に松本さんは、写真を撮りつづける者としての大切な心構えを教えてくださいました。それは「いつどんなときもカメラを撮影できる状態でスタンバイさせておくこと」だといいます。

「車や飛行機での移動中も、つねに1台は体の近くに置いておきます。いつどこで何が起きるか分かりませんからね。この教えは取材記者の基本的な心構えとして代々引き継がれています」

松本 剛 (まつもと つよし)

読売新聞東京本社に入社15年目。編集局の写真部に所属する取材記者(新聞カメラマン)。小さな悪も見逃さない写真部きっての正義漢。写真部員が世相を切り取る読売新聞のフォトコラム「写旬」も手がけている。

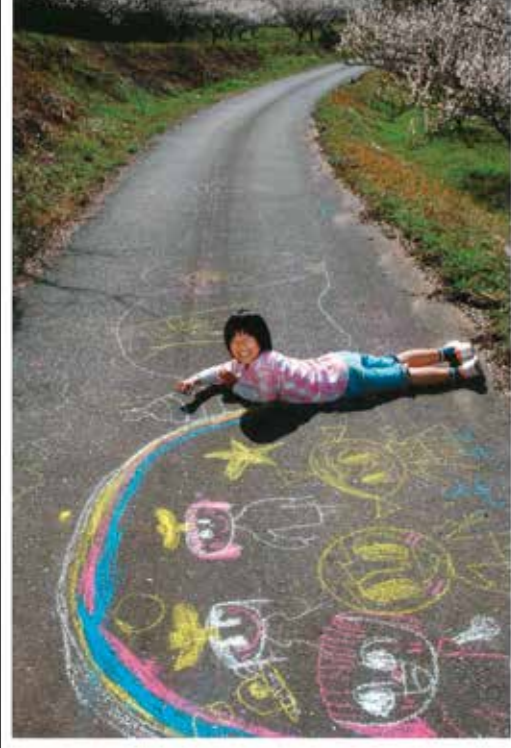


「写旬」とは

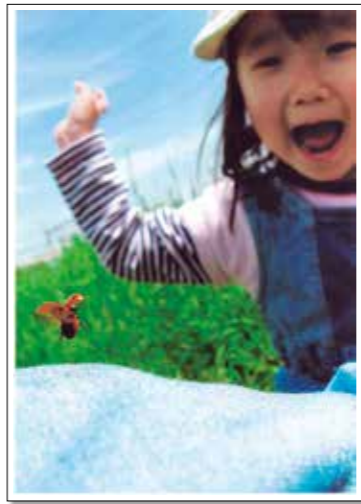
読売新聞で2006年4月から東京本社発行のタ刊社会面ではじまった、写真部員が世相を切り取るフォトコラム。世のなかの新しい出来事をいち早く取材し、組写真で紹介している。震災後は被災地の人々の生活を取り上げ、人との絆を再確認できるコラムを掲載しつづけて、最近ではクラブツーリズム主催のフォトセミナーで写真部員が組写真講座を行うなど幅広く活動している。

まだまだ聞きたい話はありませんが、気がつくとも時間は午後4時。朝刊の制作開始を前に、編集局がにわかにあわただしくなってきました。うかがえば、この日の松本さんは泊まり勤務。世相の今を伝える編集局は、つねに動きつづけているのです。

「新聞カメラマン」は、ネイチャーやポートレートを専門とする「写真家」とは目的が違います。しかし、現場を感じ取り、見る人に伝えるという活動は、同じく写真を撮る私たちにとって参考になるところがたくさんありました。ふだん何気なく目にし、身近に感じられる新聞ですが、そこから学んだ「大切な一瞬を撮り逃さない」技術を胸に刻み、明日からの撮影に活かしてみたいかがでしょうか。



「落書天国」百崎礼治さん



「飛んだっ！」森嶋猛さん



「名前を呼ばれて」宮野和也さん



「もっと向こう行って！」高山淳さん

思い出シリーズ2

思い出を
残す
新方法

アルバムをまるごと保存する
家族の絆が深まる
「アルバムそのまま」サービス

語り合いたいアルバムランキング

(思い出づくり研究所調べ)

- 1位 今では見られない昔の思い出写真
- 2位 かわいい姿をいつまでも子どもの成長記録
- 3位 今までに行った旅行の写真

アルバムのいいところは、昔の写真がすぐに見られるところ。旅行のチケットなども一緒に残すなど、アルバムづくりを工夫する人もいました。子どもに残す写真としては、おなかのなかにいるときから撮っているという強者も。

スマホでもアルバムが見られる



スマートフォンの動画もついているので、アルバムをどこにでも持ち歩いて見ることができます。

アルバムそのまま DVD / フォトブック

その1

ブルーレイまたはDVDを、大画面のテレビで楽しめます。離れている家族が集まったとき、結婚記念日に、大勢で見られるのがいいですね。



その2

DVDは、パソコンで楽しんだりプリントしたりできます。紙とデータの両方で持っている、もしものときも安心ですね。



その3

アルバムのページそのままにつくったフォトブック。大きなアルバムが小型になってどこにでも持ち歩けます。遠くに住む両親に、子どもが巣立ったときのプレゼントに……使い道はいろいろ。



詳しくは <http://www.kitamura.jp>

アルバムそのまま

検索

何度でも見返したい写真は、DVDにしましょう

世界でたった1冊の思い出のアルバムをいつまでも大切に保管し、身近な場所に置いておきたいという気持ち、よくわかります。何度も見たはずなのに、久しぶりにアルバムを見たときの懐かしさや感動は、宝物といってもいいすぎではありませんよね。でも、大切にしまいきなかなかに気軽に見ることができないなんて人も多いのではないのでしょうか。長い間本棚や押入れにしまいこんでいると時間とともに劣化してしまいう可能性もあります。そんな寂しいことはなるべく避けたいですね。

アルバムを複製する。そんなお悩みにお応えするのが、PCC特別賛助企業のカメラのキタムラが行っている「アルバムそのままDVD / フォトブック」。アルバムに貼られた写真を、そのままデータ化して、DVDやブルーレイに保存。さらにアルバムのページそのままのフォトブックをつくるサービスです。「アルバムをデータ化する」とは「同じアルバムを複製する」ともいえます。アルバムがもう一冊できるので、オリ

ジナルのアルバムはこれまでどおり大切に保管し、もう一冊は身近に置いておけば、いつでも気軽に大切な写真を楽しむことができます。また、万が一紛失したときも大切な思い出を守ることができます。DVDやブルーレイに保存するので写真をテレビの大きな画面に映して、家族や友人と一緒に鑑賞もできます。アルバムを中心に広がる、家族の輪。「アルバムそのままDVD / フォトブック」のサービスは思い出に花を咲かせ、家族の絆をさらに深めてくれます。皆さんもぜひご利用ください。

PCに届いたメール
実家に帰省したとき、押入れの奥で子どもの頃のアルバムを発見。そういえば何年も見ていなかったような……。いつでも気軽に家族と見返すことができる、いい方法はありませんか？

家族や友人のアルバムは、大切すぎて奥にしまいこんでしまいがち。大切なアルバムを気軽に見返し、話を花を咲かせる。そんな家族や友人との絆を再確認できるサービスがありました。

思い出の
残り方
2通り

家族の肖像 ちょうど工夫して 毎年の写真を 「フォトブック」に

子どもが大きくなるにつれて撮影の機会は少なくなってくるものですが、みんなが集まるお正月や誕生日などの記念日に、家族全員の集合写真を撮ってみてはいかがでしょう。ちょっとした工夫で、よりいっそう思い出深い一枚になります。



青空を背景に、カメラを下に置いて見上げるように撮影すると、空が広く見えます

毎年欠かさず 撮影したい 家族の記念写真

まずは撮影場所の選定。家の玄関や庭先など、身近な場所が撮影すれば生活の温もりが感じられる写真となり、なおかつ、毎年同じ場所で撮影すると、家族の成長や変化が際立ちます。

家族全員が写るために 三脚は必須アイテム

せっかくの家族との記念写真。できれば全員で写りたいです。こんなときは三脚をうまく活用するようにしましょう。三脚があれば、撮影者がいなくても、タイマーや

リモコンを使って家族の集合写真を撮ることが出来ます。

思い出を手軽に 振り返ることができる 「フォトブック」

写真を撮ったら画像を手にとり取って見られるようにしましょう。パソコンに入れたままでは、みんなが好きなときに写真を鑑賞できず、いずれは写真のゆくえがわからなくなるなんてことにもなりかねません。

そこで便利なのが、思い出を一冊の本にまとめる、カメラのキタムラの「フォトブック」。家族の人数分を作成すれば、それぞれが気軽に思い出を振り返ることが出来ます。自宅からインターネットを使って注文できるので、つくり方も簡単。毎年1冊つくって、家族の思い出をたくさん残していくのもいいですね。



毎年同じ場所や同じ並び方で撮ると、家族の成長がわかります



こんな後ろ姿も入れると、フォトブックのバリエーションが広がります

家族写真をフォトブックに

1. 店頭で受付機で簡単に注文できます
2. インターネットを使い自宅から注文できます
3. 種類も豊富、まとめて何冊もつくれます

家族の肖像 おめかしをして 毎年の記念写真は スタジオで撮る

「家族写真をスタジオで撮る」というと、かしまってしまいがちですが、気軽に利用できるスタジオがありました。

毎年の家族の記念日に、皆さんは写真を撮っていますか。PCC 特別賛助企業のスタジオオマリオは、気軽に遊びにいくような気分で利用することができる、あなたの町の写真スタジオです。子どもの成長記録はもちろん、大切な結婚記念日、還暦などの長寿のお祝い、毎年恒例の家族写真まで、皆さんの思い出づくりを

スタジオオマリオのスタッフが全力でサポートしてくれます。家族みんなので撮影ができる

撮影にかかる料金は、基本料金の3150円とお写真代のみ。何枚撮っても追加料金はなく、家族であればどなたでも写真に収まることができます。しかも子どものお着が

えとヘアメイクは無料。各店ともにたくさんの衣装や小物を用意しているの、衣装をかえて何ポーズでも撮影を楽しむことができます。

お誕生日や七五三を 記録して、宝物に

家族にとって、子どもの成長は大切なお祝い事。写真に記録することで一生の宝物とし、遠方の祖父母や親戚にもプレゼントしたいものです。スタジオオマリオでは、お誕生日や七五三といった子どものお祝い事もお手伝い。女性を中心とした専門スタッフが保母さんのような接客で、最高の笑顔を引き出してくれます。

お気軽に足を運ぶことができるスタジオオマリオ。スタジオで撮るなら、ぜひ皆さんもお近くの店舗にお出かけください。



たまには家族全員そろっての記念写真を



何気ない一瞬も撮ってくれるので、後で見ると楽しいです



皆さんにっこり笑顔になるスタジオです



年3回発行のスタジオオマリオのフリーマガジン。全国のスタジオオマリオでもらえます

スタジオオマリオの家族写真ここがお得

1. 撮影基本料金 3150円 (税込) とお写真代で何カットでも
2. 子どものお着がえは、何着でも無料
3. 専門スタッフが子どもの笑顔を引き出します

※店舗により衣装は異なります。詳しくはお近くの店舗までお問い合わせください。



お客様 なんでも相談室 TEL.050-3116-8888 受付時間10:00~20:00 年中無休 専門のスタッフが電話で全力サポート!

<http://www.studio-mario.jp>

スタジオオマリオ 検索

<http://www.kitamura.jp>

キタムラ フォトブック 検索





お客様 何でも相談室

Q&A

あんなとき、こんなフォトブック

カメラのキタムラのコールセンター「お客さま何でも相談室」その名の通り、カメラや写真のことなら何でも相談できます。今回は、「フォトブック」の種類をどうやって選ぶのか素朴な疑問をぶつけてみました。

教えてくれた人
フォトブックなららせて
水谷章絵さん
 旅行が大好きで、旅行に出かけては写真をたくさん撮ってフォトブックにまとめています。お問合わせいただければ、オリジナルの作品集や思い出フォトブックづくりのお手伝いをいたします。



フォト本
 サイズは文庫とA5の2種類から選べる(フォトブック甲子園入選作品「裏町にて〜2011.10〜(くるり)」森本信一郎さん)

フォトブックハードカバー
 しっかりしたハードカバーは長期保存にぴったり



長期保存

スピードタイプフォトブックエーファイブ
 ほぼA5サイズで大きく写真が見られる



スピード命

CHECK IT OUT!

おすすめ「フォトブック」イチ押しポイント

- 本格派** フोट本
- 長期保存** フोटブックハードカバー
- スピード命** スピードタイプフォトブックエーファイブ

Q1 みんなで撮った写真でひとつのフォトブックはつくれますか？

A1 メールや、Facebook、mixiなどのSNSを使って画像を送ってもらったことできる「フォト本」につくれます。送ってくれたお友達の名前やコメントなども編集画面に表示されますので、写真の管理や編集も簡単です。レイアウトも豊富で、フォト本を開いたときの写真と文字の組み合わせを43種類のなかから選び、写真を配置していきます。本物の本のように、帯やカバー、表紙や最後の奥付といったところまで作成でき、データを入力していくだけで簡単に本のようなフォトブックを完成させることができます。つくったあとは「マイページ」にデータが残りますので、30日間は再注文が可能。お友達の分や、そのまたお友達に追加であげたい、なんてときに便利ですね。

Q2 ずっととっておけるフォトブックってありますか？

A2 長期保存に適した、厚みと堅さのある「フォトブックハードカバー」はいかがですか。A5サイズで整理しやすく、本棚に並べておいても見栄えがします。なかの各ページも写真紙仕上げで、とっておきの思い出をきれいに保存できます。表紙のデザインは8種類から、イメージに合わせて選べます。なかの用紙も写真用紙を使い、本格的できれいな仕上がりになります。ページ同士がくっつかないように加工をしていますので、長期間保存するのにぴったり。お子さまの成長記録としても残しておけますね。使いたい写真をCDなどに入れ、カメラのキタムラへお持ちいただければ、店頭で機械を使って注文ができます。わからないことはすぐに質問できるので安心ですね。もちろん、自宅で専用ソフトを使いながら、ゆとり作り作成することも可能。

Q3 今日撮った写真を、すぐフォトブックにしたい！

A3 お買い物の前に注文していただければ、お帰りまでにお受けいただけれますので便利です。といっても印刷は写真仕上げなので、発色もとてもきれいです。製本はしっかりとしたリング製本。片面印刷なので、できあがったフォトブックの裏面に、手書きでコメントを入れるなどの楽しみもあります。写真に写っている人と一緒に注文し、その場でメッセージを書き合ったりするのもいいですね。1ページ画像のシンプルなものから、A5サイズバラエティなどデザインも豊富。ソフトをダウンロードせず、オンライン注文も対応しているので、手軽につくることができます。

「お客さま何でも相談室」には、PCC会員専用の回線があります。カメラ、写真のことならなんでもご相談ください

カメラのキタムラ
お客さま何でも相談室
☎050-3033-0066
 電話番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようお願いいたします



http://www.kitamura.jp

キタムラ フォトブック 検索

フォトブック甲子園 写真年賀状コンテスト

一步先行く写真のアイデア祭

撮った写真をいかに楽しく見せるか、もらった人がうれしい年賀状はどういう写真を撮ればいいのか、そのヒントがここにあります。

(敬称略)

写真年賀状コンテスト

今年の元旦より募集を開始した「あなたの年賀状部門」には、3285枚もの応募がありました。その中でグランプリに選ばれたのは、岡野宏樹さんの年賀状。親子3人の手のひらに描かれた龍の絵と、「3人で力を合わせて上へ 上へ!」というコメントに、新年らしい力強さが感じられるというのがその理由のひとつ。「年賀状アイデア部門」78枚と合わせて応募1枚につき10円(計33,630円)を日本赤十字社を通して、東日本大震災の災害義援金として寄付いたしました。

(年賀状づくりのポイントは「フォトライブ四季」秋号でお伝えします。) 入選作品は年賀状普及協議会のホームページで見ることができます



グランプリ 岡野宏樹



「写真年賀状」大賞 相馬一貴

http://nenga-jo.jp/
 主催……………年賀状普及協議会
 後援……………毎日新聞社
 NPO法人 フォトカルチャー倶楽部
 特別協賛……………カメラのキタムラ&スタジオマリオ
 【協賛】岡村製作所、カルチュア・コンビニエンス・クラブ、キャンマーケティングジャパン、クラブツーリズム、ココロファニチャー、コダック、スターツコーポレートサービス、ニコンイメージングジャパン、日刊スポーツ新聞社、日本郵便、ハクバ写真産業、ハルタ製靴、ファーム、富士フィルム、フレムマン、メガネスーパー(五十音順)
 審査員……………年賀状普及協議会会長 松尾喬
 年賀状普及協議会副会長 板見浩史
 年賀状評論家 奈良巧



「WOW!感」賞 松下将士



「現在感」賞 齋藤慶一郎



「言祝ぎ感」賞 伊藤茂年

フォトブック甲子園

第2回を迎えたPCC主催のフォトブック甲子園。今年のThe Best Photobook of The Yearは、フォト本の特性をいかした小説風の作品「あの人と歩いた軽井沢」が受賞。ますます広がるフォトブックの世界。次号以降で作成のコツをお伝えします。



あの人と歩いた軽井沢

The Best Photobook of The Year賞 「あの人と歩いた軽井沢」藤沢あすか

主催……………NPO法人 フォトカルチャー倶楽部
 後援……………毎日新聞社、フォトブック普及委員会、社団法人全国高等学校文化連盟
 特別協賛……………カメラのキタムラ&スタジオマリオ
 審査員……………フォトカルチャー倶楽部理事 板見浩史
 フォトブック大使 奈良巧
 フォトカルチャー倶楽部理事長 松尾喬



フォトブック甲子園大賞 「やさいとくだもの」井上靖子



フォト本賞 「謔」北田友子

テーマ部門賞

【自由】
 「soraのキモチ」竹内祐子
 「裏町にて〜2011.10〜(くるり)」森本信一郎
 「うさぎ」山田明希
 【旅・思い出・祭り】
 「はじめての海外旅行」平安山早紀
 「KYOTO」福澤 恵美
 「ベッキオのイタリア旅行記」中島真美
 【家族・子育て・ペット】
 「でびゅ〜」大木孝一
 「2さいのハローワーク」大河原千絵
 「ママのひきだし」川上淳子

写真をプリントして持っている人は撮った人の3割
「マイフォトボックス」で画像データを安全に保管・管理

思い出づくり研究所は、さまざまな思い出の残し方について調べています。写真を撮ったあと、その画像データをどうしているかについて調査したところ、パソコンやメディアで保存している人が大半だということがわかりました。

パソコンに保存した画像データは、4割の人が見つからないと嘆く

デジタルカメラで撮影した写真の画像データ、いったいみんなはどのようにしているのでしょうか。富士フィルム調査によると、撮影した画像をパソコンのハードディスクに入れておける人は、全体の約8割。さらにこの画像をプリントの状態でも保存している人は、全体の3割にも満たないという集計結果が得られました。また、ここ1〜2年の間に撮

影した写真について、すぐにパソコンから呼び出して画像データを見ることが出来る人は全体の5割ほどで、時間をかけて探さなければ見つからないと回答した人は、4割以上に達していることがわかりました。

昔の写真ほど見つかるのは困難

この数字が示しているのは、画像データの管理のむずかしさです。時間をさかのぼるにつれて、撮影した画像データの管理はいつそうずさんになり、10年以上前の写真については3割近くの

人が、見たくても見つかることのできないと、最初からあきらめてしまいます。8割以上の人が思い出を写真に残しておきたいと願う一方で、データの所在が次々とわからなくなっていくというのは、とても残念なことです。

増えつつある写真はオンラインで一括管理

そこで多くの人が、大切な思い出を守るために、画像をプリントとして手元に置いたり、データのバックアップをとったりしてありますが、すべての画像をプリントにするのは現実的ではなく、増えつつあるデータを管理していくことも大変です。

そんな複雑なデジタル画像データの管理をスムーズにし、大切な思い出をいつまでも守ってくれるのが、PCC特別賛助企業カメラのキタムラの「マイフォトボックス」です。その3つのおすすめポイントをご紹介します。

「マイフォトボックス」ここがポイント

- 1 アルバム公開で人と共有できる
アップロードした写真は、「友人に知らせる」機能を使って、見せたい人にお知らせできます。メールアドレスを入れるだけなので簡単。
- 2 スマホで写真をアップロードし見ることができる
スマートフォン無料アプリを使えば、保存した画像データをいつでも気軽に楽しむことができます。
- 3 プリントやフォトブックにも
保存した写真は、パソコンからプリントしたりフォトブックを注文したりが自由。手元に写真を置きたくなったらいつでもダウンロードできます。



みんなで写真を共有「マイフォトボックス」
マイフォトボックス 検索

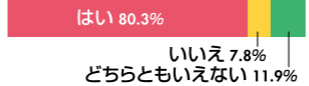


アップロードした写真を使って、フォトブックを作成

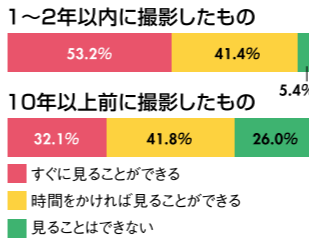
撮った写真はどのように保存していますか？ (1442人回答)

- 1 パソコンのハードディスクに保存.....1176名
- 2 データを二重に保存.....540名
- 3 データだけでなくプリントでも保存.....415名 (二重回答可)

思い出は残しておきたいですか？



撮影した画像データをすぐに見ることはできますか？



「富士フィルム2010年フォトライフ調査」より



バッグが、風景撮影を語る友となる。

本格カメラバッグのブランドとして生まれ、プロ向けという思想が受け継がれてきたGW-PRO。いま新たなハイエンドモデルが誕生します。バッグづくりの経験と技術、アイデア、そしてプロカメラマンとの度重なるフィールドテストをもとに、移動から撮影まで、考えうる最大のパフォーマンスを発揮するアイデアを凝縮したモデルです。

GW-PRO

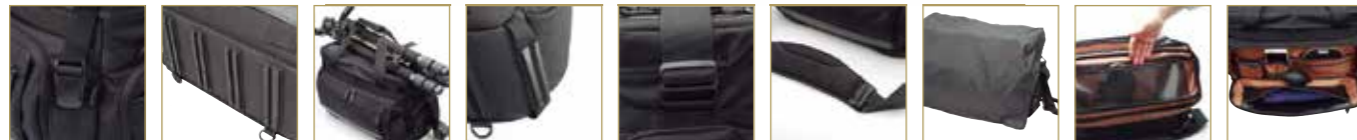
- 内寸法: W400×H280×D150mm
- 外寸法: W420×H300×D170mm
- ノートPC収納
- 三脚取付可能
- カードハンドルに取付可能
- 専用レインカバー付属

GW-PROショルダーバッグ
希望小売価格(税込) ¥33,600



フードを付けた状態の長玉*を装着したカメラまで収納可能なフレキシブル設計
PCとカメラを収納しつつ薄型を保つ、効果的なパッケージ
素早くまとめられるマグネット式ハンドル

*写真の長玉レンズは、AF-S VR Nikkor ED 70-200mm F2.8Gです



カメラや三脚で片手が塞がっていても、片手で開閉可能なメインバックル
底の素材は、ゴムボートに使われる防水・耐摩耗性に優れたハイロン製
三脚を対角線上に固定することで大型三脚もバランスよく取り付け可能
電車や飛行機の荷物入れに収納しやすいサブハンドル
ショルダーベルトの付け根は、ベルトの偏りから来る破損を防ぐ構造を採用
肩へフィットし荷重を分散する3Dショルダーパッド
突然の雨でも素早く装着可能な専用レインカバー
上下2方向から出し入れ可能なフタ裏内部ポケット
水滴のついた荷物を収納するのに安心な防水生地使用のポケット

ハクバ 検索 ●製品改良のため予告なく仕様、デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。 ハクバ写真産業株式会社 お問い合わせ先 受注センター TEL: 0568(85)0898 FAX: 0568(85)0899

二度とは出会えないだろう、この瞬間のために。

厳寒の冬のアウトドア。中判だけが表現できる空気感。このカメラだから到達を許される世界がある。**PENTAX 645D**。それは唯一無二の中判フィールドデジタルカメラ。

4000万画素の新世界

645D



撮影:小林義明 使用レンズ:FA645 150-300mmF5.6ED(IF)(300mm) マニュアル撮影 絞り:F11 シャッター速度:1/200秒 ISO感度:200 WB:CTE カスタムイメージ:リバーサルフィルム ※北海道川上郡標茶町2月



ペンタックスリコーイメージング株式会社 www.pentax.jp/ お客様相談センター: 0570-001323(ナビダイヤル)または03-3960-5705

思い出
発見講座

街中すべてが写真の主役

被写体大辞典 第4回

春編

あたたかくなり、花も咲いて、外に出るのが楽しみになりました。春は新しいことに挑戦したくなる季節。毎年楽しみにしている桜も見慣れた街も、いつもと少しちがった撮り方で。春も、カメラの目で散歩してみましよう。

桜【さくら】

—下から

枝垂桜をあえて下から撮影。迫力が出て、いつもと雰囲気がちがう写真になります。写真は見上げたり、かがんだり自分が動くことで撮影パターンの幅が広がります。



内山政治さん



—菜の花

桜にぐっと寄って、菜の花の黄色と桜の濃いピンクを模様のように撮ってみましよう。春色でいっぱいの一枚になります。



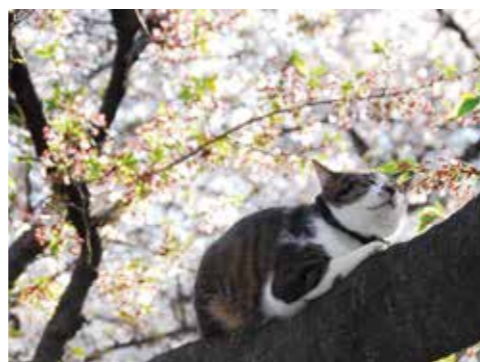
久嶋栄雄さん

—空

満開のようすを見ると、ついつい桜の木そのままでいって撮りたくありませんか。近づく前に、発見したそのときの感動を撮ってみましよう。青い空に桜の木、春の散歩の気持ちよさをそのまま写したようです。

—猫

「ここがわたしの特等席」と猫がまどろんでいるようす、滅多にお目にかかれません。どこかにいってしまいう前に、手ブレだけには気をつけて撮ってみましよう。



観覧者【かんらんしゃ】

色とりどりのもの、大きいもの、こじんまりしているもの。春の空と合わせて撮ってみましよう。思い込みを捨てて、思い切った構図に挑戦してみるのもよいのでは。



—建物

自然のものに人工物を入れるのは避けがちですが、四季を感じる花と町を撮ると、見返したときに季節と時代がよみがえります。



—定点観測

庭やベランダで育てて、いつも決めた位置で撮影。撮った写真を繋ぎ合わせて動画上にする、つぼみから花が少しずつ開いていくようすがわかります。



苺【いちご】

テグスを通して空飛ぶ苺に。家にある白い紙をレフ板がわりにして光を反射させると、影の分量を調整できます。



枠【わく】

「向こう側に見える景色をのぞいている雰囲気を出したくて、わざと手前に柵を入れて撮影した」と山田さん。奥行きのある写真になりますね。柵などの穴の開いているものをうまく利用して撮影するのも面白いですね。



山田明希さん



井原一樹さん (2011年「なかも展」より)

店先【みせさき】

街中で「おもしろい」と思った感覚を大切に撮影。店の装飾や建物の特徴など、なんでも撮ってみましよう。お店のなかを撮りたいときには、店員さんに声をかけを。



長弘博樹さん

みなさんのこれだと思ふ被写体の写真、かわった撮り方をした写真をお送りください(テーマ:夏)(応募方法→P48)



思い出を
残す
テクニク



『デジタル一眼撮影手帖 散歩と旅で写真がうまくなる』フォトカルチャー倶楽部/クラブツーリズム編P86-87より

はじめてのデジタル一眼カメラ講座

桜撮影は、樹から離れたところから

写真 秦達夫

春。桜前線の情報が聞こえてくると、撮影に出かけたくなる人は多いのではないだろうか。写真愛好家の心をひきつけてやまない、桜。PC C監修の撮影指南本『散歩と旅で写真がうまくなる』から、桜撮影のコツをご紹介します。

【ココがポイント①】

最初は遠く離れた場所から撮りはじめると、

いい桜を見ると一目散に樹の根元まで行ってカメラを構える人は多いですが、これでは桜の魅力を半減させてしまいます。いい桜を見つけたら、はじめは遠くから望遠レンズを使って撮影しましょう。遠くから桜を観察して撮ると、周りの景色を取り入れることもできますし、望遠レンズの特長のひとつである「圧縮効果」を活かして、桜のボリュームを引き出せます。圧縮効果とは、フレームのなかの奥行きがなくなり、手前の被写体と奥の被写体が近づいて見えること。広角レンズで撮ると、近くものは大きく、遠くものは小さく写りますが、望遠レンズを使うと、遠くの背景も近くに感じるような写真が撮れるのです。遠景でいろいろ撮ったら、徐々に桜に近づいていき、レンズも焦点距離の短いものに交換していきましょう。



渓谷の深さを印象づけるために縦位置で。桜はアクセントに小さく入れています

【ココがポイント②】

花びらのアップは黒い背景で

ぐっと桜に近づいて、花びらのアップを撮るときは、マクロレンズを使うのが一般的。写真の主役である花に近づき、背景はなるべく遠いことが重要です。まるで縁取りをしているかのように見えます。被写体にうんと近づかなければ見えないような光景を、どんどん写真におさめていきましょう。背景が黒いと、花びらの色が強調され、きれいに見えます。露出によっては、画面全体が真っ黒になってしまうこともありますので、何度か撮影してみ、よいものを選ぶようにしましょう。



ふたつの花びらが対角線に並ぶように構図を決めて撮影。

さらに、人物と一緒に撮影する



ボートに乗って、桜の樹へ手を伸ばしている子どもの姿を撮った写真。見上げている顔が中央にくるようにすると、表情が活き活きして見えます。人物写真はシャッターチャンス逃さないことが大切です。

【ココがポイント③】

青空の下、順光で撮ってみる

桜を撮るときに心がけたいのは、花のボリュームと咲いている環境を取り入れることです。天気の良い日は太陽が背に来る方角から撮影してみましょう。順光の向きになります。青空のなかに桜が浮かび上がり、鮮やかな写真が撮れます。このとき、下の作品のように、桜の枝が向いている方向の空間を大きく空けると、写真に広がりを持たせることができます。遠くから撮影するとき、被写界深度が深いので、絞りこむ必要がないように感じられますが、開放で撮影するのはやめましょう。開放から2〜3段絞ったF値で撮影することをおすすめします。絞ると花一輪一輪がはっきり写るようになり、写真を大きく引き伸ばしたときの印象が変わります。



枝垂桜の花びらを、背景を黒くすることによって幻想的にしています。露出補正をマイナスにするとよいでしょう。



山と桜が重なるように撮影。実際はこんなに近くありませんが、望遠レンズの圧縮効果でふたつが接近して見えます。

『散歩と旅で写真がうまくなる』日経ナショナル ジオグラフィック社刊/桜や花、緑、雨などの風景写真や、街角、駅、鉄道など身近な被写体のシーン別撮り方を34例紹介。ページの最初にある「ココがポイント!」を読むだけで、撮影のコツがわかります。定価1,890円。詳しくは「日経ナショナル ジオグラフィック」で検索。

Thanks for Coming

自分の写真を見つめ、時には悩み、仲間と生み出した成果が、ギャラリーを彩った

時代の变革を受け継ぎながら



第11回東京電写 写真展
2011年8月18日(木)～8月24日(水)
東京電業協会写真部を母体活動している写真愛好のメンバーです。モノクロからカラー、デジタルプリントの時代へと、時代の变革を受け継ぎながら、自然・人物・造形とあらゆる写真を楽しんでいます。

後世に残したい光景



第8回フォトクラブ210写真展
2011年8月25日(木)～8月31日(水)
「残したい光景」をテーマにしました。美しい自然や歴史を感じる建造物、祭りや郷土芸能、風俗習慣などを会員それぞれの視点で撮りました。これらの光景が、後世に残っていくことを願います。

改変後、初めての写真展



第9回くらんぼ一CLUB写真展
2011年9月1日(木)～9月7日(水)
「くらんぼ一CLUB」が新しく生まれかわり、はじめての写真展になりました。悩みながらも写真を楽しんでいるなかで、美しい風景に出会って感動したり、癒されたりした気持ちを写真に込めました。

この一年間の成長を見せたい



東武カルチュアスクール 第14回TCS写真展
2011年9月8日(木)～9月14日(水)
東武カルチュアスクールの教室メンバーによる、定期発表展です。震災もありましたが、この一年間の各人の成果を発表する展覧会が再び開催できることを、幸せなことと思っております。

風景から感じる「光彩の詩」



第4回さくら倶楽部写真展
2011年9月15日(木)～9月21日(水)
今回は「光彩の詩」をテーマに風景写真を中心に展示しました。



ひとりひとりの「出会い」



第16回キャノンフォトクラブ第3支部展「それぞれの出会い」
2011年9月22日(木)～9月28日(水)
クラブの会員が「それぞれの出会い」を求めて撮影しました。ひとりひとりの「出会い」を写真から感じ取っていただけたかと思えます。

テーマカラーはオレンジ



第7回フォトクラブ撮影美写真展
2011年9月29日(木)～10月5日(水)
写真家の秦達夫先生の講座を修了したメンバーで結成したクラブです。今回は「オレンジ」をテーマカラーにしました。



先生を迎え、より個性豊かに



Photo Group [FINE] 写真展
2011年10月6日(木)～10月12日(水)
花写真からスタートした私たちですが、今ではスナップ、風景など、あらゆる被写体に挑戦しています。今年から顧問に川合麻紀先生を迎え、ご指導いただき、個性豊かな作品を揃えました。

お酒と写真を楽しみながら



風林花山 9TH写真展
2011年10月13日(木)～10月19日(水)
写真家・秦達夫先生の講座の修了者で、お酒が好きな仲間が結成したクラブです。自然風景を中心に撮影した写真を、秦先生に添削をしていただき、年に一回作品展ができるように活動しています。

街の「すき間」を写真に



第19回 女性のための写真教室<作品展>
2011年10月20日(木)～10月26日(水)
東武カルチュアスクール写真教室の女性グループによる年一回の作品展です。今回は「街のスリット」をテーマに、街中の形態的、心理的な「すき間」を写真表現として引き出すことに挑戦しました。

選りすぐりのラビアタを



【原点…魅せるラビアタ…】原種洋蘭「カトレヤ」2011-II
2011年10月27日(木)～11月2日(水)
写真を撮りはじめてから数十年の歳月が流れました。時々興味によって撮影の対象はかわりました。本展では、原種洋蘭のカトレヤ、ラビアタにターゲットをしぼり、選りすぐった作品を展示しました。

一年間考えた「豊か」を伝えたい



第12回 FCCレディーズ写真展
2011年11月3日(木)～11月9日(水)
今回のテーマは「豊か」です。川合麻紀先生の指導のもと、各々が一年間考えてきました。今年は心を痛めることが多い年となりましたが、私たちの思い浮かぶ「豊か」をお伝えできたかと思えます。



新宿御苑の桜は2月中旬から4月下旬まで楽しめる



ギャラリーひしめく新宿御苑
東京都心の自然撮影スポットのひとつとして人気が高い新宿御苑。新宿御苑付近は写真ギャラリーがひしめく地域。徒歩10分圏内に10店以上ものギャラリーがあり、1日でも何店も見に行くことができます。この日はフォトギャラリーキタムラを出発し、新宿通り沿いのギャラリーシリーズ、道路を渡った富士フォトギャラリー、新宿、新宿御苑の遊歩道からすぐ近くのHCLフォトギャラリーをはしご。いい作品を見ると、自分も写真を撮りたくなります。

PCC会員の公募展「ななかま展2012」作品募集 <http://npopcc.jp/>

①展示期間8月9日(木)～8月15日(水) フォトギャラリーキタムラ東京・新宿
8月29日(水)～9月4日(火) フォトギャラリーキタムラ大阪・豊中
②応募のきまり
7月6日(金)必着
展示を希望される作品をプリントし、別紙に①会員番号、②氏名(フリガナ)、③作品タイトルをお書きの上、作品の裏面に貼り付けてPCC事務局へお送りください。審査の上、入賞作品50点を決定します。入選された方は、7月中旬にお知らせいたします。プリントサイズ：A4/4切/W4切のフチナシ 応募料：2,000円 作品送付時に郵便定額小為替を同封してください。
※入選されなかった場合は返金いたします。※応募作品は返却いたしませんのでご了承ください。
※応募作品のプリントを額装し展示いたします。※昨年の「ななかま展」で展示された方もご応募いただけます。
※応募は、おひとり様1点に限らせていただきます。
③審査員
岡村浩氏(フォトギャラリーキタムラ館長)、板見浩史氏(PCC理事)
④「ななかま展」オープニング特別イベント(東京) 板見浩史氏による作品講評&懇親会
8月9日(木) 16:00～20:00(予定) 参加費 4,000円
イベント参加希望の場合は作品応募時に「イベント参加希望」とご記入ください。
昨年の「ななかま展」イベントで出会った方がサークルに(→P38)

撮ったら食べる
撮りたくなったらすぐに新宿御苑へ。桜の季節はもちろん、四季折々の花が咲き、被写体に困ることはありません。PCC顧問の写真家・丹地敏明さんも、よく撮影にいられているのだとか。撮影に熱中したら、今度はおなかがいっぱいになります。そんなときは、フォトギャラリーキタムラ斜め前のらーめん割烹「タヤケ」へ。店内には『フォトライフ四季』本誌も置いてあり、写真愛好家たちが集まるお店なのだと感じさせます。春の訪れとともに、新宿御苑界隈を写真散策してみませんか。

フォトギャラリーキタムラ 大阪・豊中

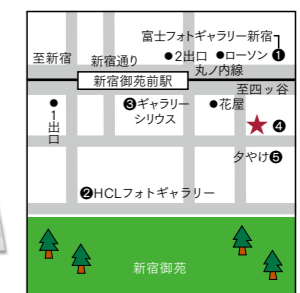
豊中市西緑丘3-10-7 カメラのキタムラ 豊中・豊中店2F
☎06-6855-6645
10:00-18:00
※写真展最終日は15時まで 定休日/年中無休(年末年始は除く)



フォトギャラリーキタムラ 東京・新宿
新宿区新宿1-2-6 御苑花志ビル1F
☎03-3341-7577 <http://kitamura.jp/photogallery/>
10:00-18:00(土曜日11:00-17:00)
※写真展最終日は15時まで 定休日/日・祝祭日

フォトブックサービス中

フォトギャラリーキタムラ東京・新宿では、ギャラリーをご利用のグループに、展示した写真や記念写真をまとめたフォトブックを1冊プレゼントしています。



クラブツーリズムでは、写真がもっと上手くなるように、基礎から学べる写真教室、撮影ツアー、フォトコンテストなどの3つのイベントを用意しています。3つはつなげて組み合わせながらレベルアップ、繰り返しほどステップアップ。PCCは「写真上達スパイラル方式」と名付けました。



この春は自分らしい『旅写真』をはじめめる

クラブツーリズムで



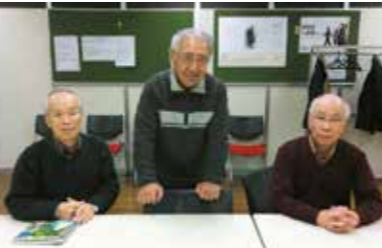
初心者限定、みるみる写真が上達する撮影ツアー

春。何か新しいことをはじめたい、今年こそはもっと写真の腕を磨きたい、そう思っている人におすすめなのが、クラブツーリズムが実施する初心者限定の撮影ツアー「自分らしい旅写真をきれいに撮り隊」。

デジタル一眼やミラーレス一眼を持っているけれど使い方に不安のある人や、これからカメラを趣味にしたいと考えている人向けの撮影ツアーなので、「こんなこと恥ずかしくて聞けない……」と悩んでいる人も、どんな質問でもできます。

ツアーでは、フォトインストラクターがカメラの使い方や撮影に役立つ機材、よりきれいな写真を撮るためのコツを丁寧に指導。疑問をそのままにせず、その場でスッキリ解決できます。また、写真仲間にもツアーで出会えるかもしれません。

桜と富士山をはじめ、撮りに出かける被写体は人気があるものばかり。この春は写真上達を目指して、カメラを持って外へ出かけてみませんか。



初心者向けの講座では、インストラクターが丁寧に指導(中央は講師の宮井英武先生)。わからないことはどんどん聞きましよう



季節に合わせた被写体のツアーが魅力のひとつ(写真:富士河口湖町観光課提供)



学んで楽しむ写真のイロハ!

デジタル一眼レフ初心者のため「もっと撮影を楽しもう! 写真のイロハ」講座が新宿、千葉、多摩、横浜、湘南、埼玉各地で開催されます。講座は、デジタル一眼レフの基本的な機能から写真の楽しみ方まで丁寧に指導。PCCとクラブツーリズムが監修した「散歩と旅で写真がうまくなる」(P26)もテキストで使われています。テキストはカメラの選び方やカメラの構え方などデジタル一眼初心者にやさしい内容。読むだけではわかりにくいことも、講師が目の前で説明をしてくれるので安心です。



PCCフォトインストラクターも講座をしています(写真は光川十洋さん)

講座終了後には、「お持ちのカメラなんでも相談室」も行われるので個人のお悩みも解決できます。

詳しくはクラブツーリズムホームページでご確認ください。



365日フォトコンテスト 2012 春夏

カメラのキタムラフォトコンテストが「365日フォトコンテスト」に名前をかえてリニューアル(↓P40)。初心者向けの腕だめしコースには「旅」部門があるので、この春撮影ツアーで出かけた自慢の作品を応募してみてはいかがでしょう。



「それぞれに…」早瀬朝美さん(カメラのキタムラフォトコンテスト2010秋冬 腕だめし部門 テーマ:旅 準特選)

コンテスト応募に挑戦する講座も

「いきなりコンテストに応募するのはちょっと」と思っている人のために、クラブツーリズムでは事前講座、バスでの実習と講習会がセットになった講座を用意しています。自分の撮った写真のどこがよく、どこを直すともっとよくなるのかを先生が丁寧に指導。自分の写真をよく見つめ、うまくなりたいという気持ちがあれば、写真は上達していきます。

講座で学び、撮影ツアーで撮り、コンテストに応募して撮った写真を見せる。これぞ楽しく上達できる写真上達スパイラルです。PCCでも、クラブツーリズムの写真上達スパイラルを応援していきます。

資料を無料進呈しております。お電話でオペレーターに下記資料請求番号をお伝えください。

<p>関東撮影ツアー</p> <p>資料請求番号 101720</p>	<p>関東撮影講座</p> <p>資料請求番号 IC2100</p>	<p>名古屋撮影ツアー・講座</p> <p>資料請求番号 IF0379</p>	<p>関西撮影ツアー・講座</p> <p>資料請求番号 IG0300</p>
-------------------------------------	------------------------------------	---	--

その他全国でさまざまな撮影ツアー・講座を開催しています。クラブツーリズム最新情報は下記電話番号、またはホームページへ。

Tel. 03-5323-6990(関東)
Tel. 052-300-0011(名古屋)
Tel. 06-6733-0090(関西)
[営業時間]月~土 9:15~17:30 日・祝は休業

クラブツーリズム 写真 検索

詳しくはクラブツーリズムホームページでご確認ください。

小さな花は
ピンとをきちんと合わせて

今回のロケが行われたのは、埼玉県幸手市の権現堂堤（ごんげんどうつつみ）。桜と菜の花が一度に見られる場所として写真愛好者にも人気です。三好さんは、菜の花の香りを感じながら、颯爽とした足取りで撮影場所を求めて歩き出しました。その手には愛用のソニーα55。フットワークを重視するのが三好流なのでそう。

三好さんが語る桜撮影の場所の決め手は、桜の花にあたる光の加減。満開ではなく、つぼみが少し残っていて、ピンク色が見えること。枝ぶりのよいのもフォトジェニックになるそうです。桜は昔から日本人に愛されてきた植物。絵になりそうな構図を探して、カメラを構えていました。「桜の花はアップになりすぎず、少し引きの構図の方が全体のバランスが取れます。小さな花はピン트가合えば、必ずモニターの大画面拡大機能を使い、花のシベにピン트가合っているか確認しましょう」と教えてくれました。

ライブビューを使い
構図を決める

遠景を撮るときに役立つのは、カメラのライブビュー機能。三好さんは実際の景色とライブビューの画面

を画目で見比べながら、構図を調整するそうです。ライブビューの画面は小さいですが、仕上がりの写真は大きく引き伸ばしたときにどうなるかを考えることもとても大切なこと。そして三脚はふだん使い慣れているものを持っていきましょう。雲台が自由に動くと、それだけ撮影もスムーズ。DVDのなかでは三好さん愛用の雲台も紹介しています。「写真の上達には、絵を見たり、他の写真を見たりと、ふだんから構図を気にして見るといい」と三好さん。他にもテクニックが満載のDVDは、春の風景も楽しみながら撮影の勉強ができます。



菜の花のアップを撮ろうと畑に中腰になる三好さん。ビデオカメラはアップで捕らえようと近くに

撮影している三好さんも菜の花畑を彩るひとつのアクセントに

桜刻の光を読む

時間で変わる光
天気で変わる光
見極めて作品づくりに生かす

『フォトコンライフ』は全掲載作品を選評つきでおくるフォトコンテスト専門マガジン。うれしいDVDつきです。



『フォトコンライフNo.49』
2012年春号 3月10日発売
お求めは全国の書店かカメラのキタムラ店頭で

双葉社刊
〒162-8540
東京都新宿区東五軒町3-28
TEL:03-5261-4818(営業)
http://www.tutabasha.co.jp



「写真ドラマインタビュー 写真人」
No.13 鈴木彦三さん

写真を通じて見えてくる人々のドラマを、撮影者本人に直接インタビュー。今回は福島県・裏磐梯をテーマに作品を撮りつつけている鈴木彦三さん。発想、発見、感動を大事にするという鈴木さんのその姿勢はどのように培われてきたのかを探ります。



見れば読みたくなる。読めば撮りたくなる
「カメラのキタムラ四季のフォトコンテスト」ページは、グランプリ受賞者のインタビューつきで、どうすれば上位に入るのかのコツがわかります。



写真：福田健太郎さん

達人が教える
「桜撮影で光を読む」

『フォトコンライフ』巻頭特集は、テーマに沿った写真家がさまざまなシーン別の撮り方を細かくレクチャー。今回は「桜刻の光を読む」。野呂希一さん、福田健太郎さん、五島健司さん、三好和義さんの4人の写真家が撮るそれぞれの桜を見開きで大きく見ることができます

お待たせしました!

フォトコンライフDVD
三好和義さん、ついに登場

今号の「フォトコンライフ」No.49から、特別付録DVDに三好和義さんが登場。季節に応じた四季折々の撮影テクニックを1年通して伝授してもらいます。去年11月上旬にはNo.51秋号用のロケも行われました。DVDをお楽しみに。



三好和義(みよし・かずよし)

1958年生まれ。1985年、初めての写真集「RAK UEN」で木村伊兵衛賞を受賞。以降「楽園」をテーマに、タヒチ、モルディブ、ハワイをはじめ世界各地で撮影、その多くは写真集として発売。近年は伊勢神宮、屋久島、仏像など日本での撮影も多い。近著は「京都の御所と離宮」(朝日新聞出版)



三好流・桜撮影は
フットワーク軽く

『フォトコンライフ』
付録DVDを覗き見

3月10日発売の「フォトコンライフ」No.49 特別付録DVD。その「コーナー」三好和義が撮る日本の四季シリーズ 春編 桜の撮影テクニックでは、写真家の三好和義さんが埼玉にある桜と菜の花が同時に楽しめる絶景スポットで、撮影ポイントとテクニックをレクチャー。絵画のような写真を撮るにはどうしたらいいのか、DVDで紹介されているなかから、桜撮影に使えるワザを「フォトコンライフ」編集部が紹介。

満点の星空と 奇跡の一本松に込められた願い

「よみうり風景写真コンテスト」は、2011年に「復興への道のり部門」を設置、グランプリを受賞した木村洋介さんに、撮影時の状況と写真に対する思いをうかがいました。

この風景2012
出版社 中央公論新社
定価 1,890円(税込)
問合せ先 03-3563-1431
URL http://www.chuko.co.jp/

宮城県在住の木村さん。岩手県陸前高田市に1本だけ津波に耐えた松の木があることを知り、訪れたのは震災4カ月後。被災地の写真を撮るのに最初抵抗を感じましたが、松の木が津波による傷みが激しく、回復は難しいという話を聞き、必死に生きようとしている松の姿を写真に残そうとシャッターを切ったといいます。木村さんの写真のテーマは「月光に照らし出される風景」。希望の松は星に「祈り」や「願い」を込めたかったため、月明かりではなく「満点の星空」で撮ったとのこと。一期一会の出会いで成功した写真は、本誌で大きく見ることが出来ます。



PCC会員限定プレゼント!

『このころの風景2012』
こちらをPCC会員3名様にプレゼントします。
官製はがきに①氏名②住所③電話番号④会員番号⑤『フォトライフ四季』でやってほしい記事をご記入の上、ご応募ください。

応募先 NPO法人 フォトカルチャー倶楽部
「このころの風景プレゼント」係
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205
応募期限:2012年3月31日(当日消印有効)
当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

駅など限られた場所の撮影は高倍率ズームレンズで



タムロン 鉄道風景の撮り方ガイドVol.3
広田泉のぶらりローカル線の旅
-大井川鐵道編Part.1-
発行元 タムロン
問合せ先 03-3251-3856

PCC賛助企業のタムロンが無料配布している『鉄道風景の撮り方ガイド』。「広田泉のぶらりローカル線の旅」では、大井川鐵道の風景を駅ごとに掲載し、ハウツーも盛り込まれています。

「地名駅」では、カメラを構える場所が限られるポイントからの撮影のコツを紹介。この駅には「日本一短いトンネル」があります。何故か「？」がついているこのトンネルの短さを表現するために、撮った写真は2枚。どちらの写真も、タムロンの高倍率ズーム18-270mm F/3.5-6.3を使用しています。

車体の側面がよく見えることを意識してズームレンズの広角側を使い、横位置で撮ったものは、電車の長さが強調されるので、その対比でトン

この小冊子で紹介されているレンズ



AF18-270mm F/3.5-6.3 Di II VC

これ1本で広角から超望遠、マクロ撮影までカバーする15倍ズームレンズ。静かでスムーズなピント合わせ、手ブレ補正つき、軽量・コンパクト化した最新レンズは、荷物をできるだけ少なくしたい旅や、子どものふとした表情を撮るときに最適です。

上のレンズをPCC会員限定プレゼント!

官製はがきに、①氏名②住所③電話番号④会員番号⑤お使いのカメラ機種
⑥『フォトライフ四季』でやってほしい記事をご記入の上ご応募ください。

応募先 NPO法人 フォトカルチャー倶楽部「タムロンレンズプレゼント」係
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205
応募期限:2012年3月31日(当日消印有効)
当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

なお、抽選に漏れた方のなかから10名にタムロン発行の撮り方ガイドブックをプレゼント

賛助企業・団体より届きました。これがイチオシ記事

カメラ、写真関連の書籍、小冊子の誌面から、イチオシの記事をピックアップ。もっと詳しい情報を知りたくなったら、本を手にとってみてください。

奥能登の雪割草群生地は日本一

クラブツーリズム・フォトフェスタ
日経ナショナル ジオグラフィック社ブースで
PCC関連書籍が発売されました



PCC関連書籍をボード
でアピール

PCC監修の全国撮影地ガイド『美しい日本の風景1000』。中部エリアでは奥能登の秘境にあるミスミソウの群落を旅行写真の達人・山下喜一郎さんが教えてくれています。

ミスミソウは「雪割草」の愛称でも知られ、能登半島の外浦に面している猿山岬の灯台を囲む自然歩道に群生しています。「自生地の規模としては日本一」という専門家もいるのだとか。

3月下旬には「雪割草まつり」も行われ、春の訪れを感じながら撮影に出かけるのもいいのではないのでしょうか。

「美しい日本の風景1000」は、賛助企業のクラブツーリズムが主催する「フォトフェスタ2011」でも販売されました。

ブースに立ち寄った人からは「この本、私の作品が載っているのよ」という声も。「この場所知ってる!」「ここ、今度行ってみよう」と仲間同士での会話も花が咲きました。

写真を撮るならココがベストスポット
美しい日本の風景1000
出版社 日経ナショナル ジオグラフィック社
定価 1,995円(税込)
問合せ先 0120-86-7420
URL http://nng.nikkeibp.co.jp/nng/sp/bestspot/

山積みされた本は、次から次へ手に取る人が続出。山はどんどん低くなりました

本でも イベントでも タムロンはレンズの使い方を教えています

写真は引き算。 被写体に寄って撮る

クラブツーリズム・フォトフェスタでセミナー開催

クラブツーリズムが昨年12月10日に開催したフォトフェスタでは、タムロン主催によるセミナーが行われました。

レンズの使い方のポイントは、まずは各レンズの特長をおさえ、どんな写真になるかイメージすること。レンズには広い範囲を写し撮る広角レンズ、見た目の違和感の少ない標準レンズ、撮りたい場所を切り取る望遠レンズなどがあります。さらに小さな被写体を大きく撮ることができるマクロレンズを使えば、花びらや昆虫のアップなど、表現の幅が広がります。

被写体を大きく撮れる望遠レンズとマクロレンズは、被写体との距離で使い分けをするのが有効です。望遠レンズは遠くのを大きく写すので離れた被写体に、マクロレンズは被写体に近づいて写すときに使うようにします。

レンズ交換は面倒なもの、と思われがちですが、レンズによって写せる写真がかわります。写真は引き算ともいわれますが、ズームリングをま

望遠レンズは窓際で説明。マクロレンズとの違いは作例を見せながら



望遠レンズで遠くの建物を写しているところ

参加者はマクロレンズを使って、花の撮影を実践

わすだけでなく、できるだけ被写体に近づいて撮ることも重要です。

参加者は説明を聞くだけでなく、実際に撮影をしてみ、学んだ知識を自分のものにしていました。

春到来。イベントに参加すれば楽しく学べる、撮影できる

PCCの撮影イベント

待望の名古屋開催

【中部エリア開催】 クローズアップイベント

デジタル一眼レフ講座 はじめの一步

各回 13:00~15:30

関西エリアで好評をいただいた講座を中部エリアで開催します。デジタル一眼レフを購入したばかりの初心者の方から、これからデジタル一眼レフを購入しようと考えている方まで



講師 岩田賢彦先生

参加できます。もちろん写真自体に慣れていなくても大丈夫。個人のレベルに合わせて教えますので、お気軽にご参加ください。

- 4月21日(土) デジタルカメラの基礎知識&使い方**
カメラの仕組みやモード設定、フィルムとの違いから、ピント合わせや構図のつくり方、ブレないシャッターの押し方などを学びます。
- 5月26日(土) 実践 野外で撮影**
被写体に合った設定など実際に撮影を楽しみながらカメラに慣れましょう。
- 6月23日(土) 作品講評とまとめ**
実際に撮影した写真を講評し、作品を見てもらう楽しさとステップアップのための撮影術を伝授します。

場所:愛知県名古屋ホームコンプレックス こがね教室
http://www.hcn.co.jp/juku/kogane/
〔シニア、ミセス、初心者のためのパソコン教室。詳しくは「ホームコンプレックス」で検索〕



◎詳しくは、下記PCCホームページまたは、事務局までお問合せください

【関東エリア開催】

デジカメマスター



講師 種清 豊先生

ここがポイント!

望遠で圧縮効果を狙って樹の丸みを表現したり、広角で青空と一緒に撮影したりとさまざまなアプローチができます

- 4月1日(日) 都心部の桜を撮影しよう** 10:00~12:00
都心部での桜は主に3月下旬から4月1週目まで楽しめます。代々木公園は大木も多く広々とした環境で撮影できます。
- 5月6日(日) 撮影作品の講評会** 13:00~15:30 新宿アイランドウイング
3月、4月に行なった実習の作品を中心に講評を行います。
- 6月3日(日) 季節の花、菖蒲を撮影しよう** 10:00~12:00
菖蒲は花の形が表現しにくい花です。200種6000株の江戸菖蒲が楽しめる堀切菖蒲園で、カメラの高さ、距離、レンズの画角など細かな調整をしながら撮影をします。

これで納得撮影術



講師 服部考規先生

ここがポイント!

高所からの撮影で大切な「絶対に機材を落下させない」安全な装備を工夫してみましょう

- 4月15日(日) 撮影作品の講評会** 13:00~15:30
フォトギャラリーキタムラ新宿
- 5月20日(日) 空中散歩「レインボーブリッジを歩く」** 10:00~12:00
レインボーブリッジを芝浦埠頭側から台場公園側まで渡ります。日常とは違う高い位置からのウォーターフロントの眺めを撮影しましょう。
- 6月17日(日) 撮影作品の講評会** 13:00~15:30
新宿アイランドウイング

【関西・中国・九州エリア】

大阪エエとご探検隊

【講師 田邊和宜先生】

- 4月22日(日) 西九条駅周辺
 - 5月20日(日) 弁天町駅周辺
 - 6月9日(土) 大正駅周辺
- 【番外編】4月15日(日) 石切剣箭神社の工エとご探検隊
- 各回 10:00~12:00

デジタル一眼レフ講座 次の一步(脱初心者をめざして)

【講師 岩田賢彦先生】

- 4月1日(日) 構図とレンズワーク「望遠レンズ広角レンズを使いこなそう」
 - 5月13日(日) 露出補正と色調補正「撮影時にできる補正と撮影後の補正」
 - 6月2日(土) 実践 野外で撮影「思いどおりに構図や露出を変えて撮影してみよう」
 - 6月24日(日) 作品講評とまとめ「作品制作へのチャレンジ」
- 各回 14:00~16:30

魅せる花の写真的画面構成術、1・2・3!

【講師 田邊和宜先生】

- 5月20日(日) 大阪写真会館
 - 6月2日(土) 福岡都久志会館
 - 6月3日(日) 広島YMCAホール
- 各回 14:00~16:30

参加費(全イベント共通):PCC会員3000円 一般4500円
そのほか、日時や開催場所に関しては、下記PCCホームページまたは、事務局までお問合せください。
撮影イベントチラシもご請求できます。お気軽にお申しつけください。

(NPO法人 フォトカルチャー倶楽部イベント参加お申込み方法)

お申込みの流れ

電話、FAXまたはホームページから参加登録します
HPアドレス
http://nppcc.jp
※ウェブ会員登録が必要です

開催10日前までにお近くの郵便局で参加費をお振り込みください

振り込み口座番号

記号:00110-5 番号:263276
なまえ:NPO法人 フォトカルチャー倶楽部

正式にお申込み完了です
※お振り込み確認後、受付完了とします

開催約1週間前に、受講チケットが届きます
※ウェブでお申込みの方には、メールが届きます

(注意事項) ※当日、現地での参加費お支払いはお受けできません※当日、飛び入り参加はお断りします※欠席の場合は必ずご連絡ください。高返金はできませんのであらかじめご了承ください※振り込み手数料はお申込み者負担となります個人情報の取扱いについて
①NPO法人フォトカルチャー倶楽部(以下当法人とします)は、イベント申込みの際に記入いただいた個人情報について、お客様との連絡や撮影に関わるご案内に利用させていただきます。
②当法人が取扱う撮影情報やイベント情報、商品情報をお客様に提供させていただくことがあります。上記のご案内が不要な場合はお客様のお申し出により、停止することができます。

お問合せ先 PCC事務局 Tel 03-3356-3552 Fax 03-3356-3559
受付時間 10:00~18:00(土日祝は除く)

(PCCフォトインストラクター)

街中へ出張、質問しやすさで好評

PCCのセミナーだけでなく、賛助企業をはじめ、さまざまなイベントで活躍しているフォトインストラクター。活動を少しのぞき見てみましょう。



コンパクトカメラの機能の使い方、ひとりひとりのお困りに合わせて説明(右から2番目:桜井靖夫さん)



構図の提案で新しい発見に

撮った写真をその場でモニター画面を見ながら指導(左:工藤康雄さん)

今日のおみやげは「露出補正」

賛助企業アビバのシニア向けパソコン教室「ホームコンプレックス」の写真教室でフォトインストラクターが活躍。東京名古屋で6回開催された5名のインストラクターが担当しました。わかりやすく教えることを心がけ「今日は露出補正を覚えてもらって大満足」という声も。インストラクターの周りに人が集まり、質問が飛び交いました。質問しやすい雰囲気をつくることも、講師の大切な役割です。

歴史講師とタッグを組んで

賛助企業クラブツーリズムとの協同ツアー「東京百年撮影さんぽ」が東京で11回開催されました。クラブツーリズムの歴史講師が街中の歴史を解説して、インストラクターが撮り方を説明。歴史を感じながら撮影するおもしろさも伝えました。街中で被写体を発見するコツや構図のアドバイスなど、日々の撮影に役立つあれこれを、受講者の写真を見ながら解説。受講者から喜びの声も聞かれました。

募集

あなたもPCC認定フォトインストラクターに フォトインストラクター資格取得講座

あなたの力で多くの方に写真の楽しさを伝えて下さい

2012年度開講予定

- 関東開催会場日程 (定員15名)
- 5月12日(土)
 - 6月16日(土)
 - 7月21日(土)
 - 8月25日(土)

関西開催会場日程 (定員15名)

- 5月19日(土)
 - 6月9日(土)
 - 7月21日(土)
 - 8月25日(土)
- 受講料:28,000円
1コース(全4回)

フォトインストラクター 検索
ホームページから申込みができます
TEL 03-3356-3552 (平日10-18時)

取得の流れ
フォトインストラクター必須講座(1コース4回)を受講後、ナビゲーターが総合判断します。
ナビゲーターは、徳光ゆかり先生(関東)、田邊和宜先生(関西)です。

資格認定後の活動
ステップ1 写真教室のアシスタント研修
ステップ2 写真教室の正式なアシスタントとして教室を運営
ステップ3 写真教室講師として活動
すでに各地で活躍中の方もいらっしゃいます。ふるってご参加ください。

受講資格
(公財)国際文化カレッジが主催するフォトマスター検定エキスパート、1級、準1級のいずれかの取得者で、PCC会員の方のみの限定講座です。

こんなところにも

クラブツーリズム主催の「フォトフェスタ2011」では、フォトインストラクターの岡野清人さんが講座を担当。デジタルカメラの機能と、目的に合った選び方をレクチャー。2名のインストラクターも場内に待機し、受講者の疑問にその場で答え、講座後はPCCブースでの交流も見られました。



岡野さん(左)のサポートをしたのは、佐々木一弘さん(中央)吉田巧さん(右)

今月のサークル②

京都「Arround4050」 趣味の写真でボランティア

昨年11月、京都の光明寺でArround4050が中心となり、趣味でボランティアをしようと「写真撮ります隊」を6名で結成。観光地では、互いに写真を撮り合う光景がよく見られ、そんな方の撮影の手伝いをしたいという思いで始めました。Arround4050のモットーは写真を楽しむこと。今回の体験は、



ベストスポットで撮影、撮ってもらった人は大喜び

大勢に喜んでもらえただけでなく、撮影の楽しさを改めて実感しました。今回は、4月の桜の咲く季節に嵐山で撮影ボランティアを予定しています。興味のある方はPCC事務局にご連絡ください。
(代表 鈴木千鶴)
<http://around4050.exblog.jp/>

また、活動報告をお待ちしております！

メンバー大募集

P38～39に掲載されているサークルに参加希望の方は、PCC事務局までお電話、メールまたはおはがきでご連絡ください。また、サークルをつくりたい!と思った方もご連絡お待ちしております。
TEL. 03-3356-3552 satsuei@npopcc.jp
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205
「PCC支部 サークル係」

PCC支部 サークル活動 検索

今月のサークル①

広島「世羅高原・花ふおと倶楽部」 農場で四季の花を楽しむ

広島県で新たに写真サークルをつくりました。主な活動場所は私が所属している世羅高原農場です。農場ではチューリップ、ひまわり、ダリアと四季の花が1年中楽しめます。サークルでは「花」を美しく撮ることをテーマとして掲げ、メンバーには現在、農場で写真を撮りを楽しんでいる方や農場主催のフォトコンテストの常連さん、そして地元の写真仲間がいます。春から秋は撮影会、冬は勉強会を予定しています。勉強会では広島で数々の写真教室講師をされている写真家・中元紀子先生をお迎えします。花畑を知りつづいた私が撮影ベストスポットを案内しますので、ぜひ私たちと一緒に撮影を楽しみましょう。
(代表 吉宗五十鈴)
<http://www.sera.ne.jp/>

PCC会員限定 プレゼント



花ラベルワイン 「ル・ブーケ」3本セット

世羅高原農場と世羅ワイナリーの女性スタッフが企画して生まれたワインを1名様ごプレゼント抽選に選ばれた方の中から20名様様に「世羅高原農場オリジナルクリアファイル」をプレゼント
官製はがきに①氏名②住所③電話番号④会員番号を記入し、宛名に「花ラベルワインプレゼント係」と明記の上ご応募ください。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
応募期限:2012年3月31日(当日消印有効)



チューリップ祭 4/14～5/13開催

また、活動報告をお待ちしております！

応募先はこちら

サクラも咲く PCCのサークル花ざかり

フォトカルチャー倶楽部(PCC)には、仲間写真を楽しむための「サークル」があります。撮影会や講習会、先生を招いて勉強会、公民館で作品発表など活動の内容はさまざま。今年立ち上げたばかりのところからサークル歴30年のところまで、みんなの活動を参考に、あなたもサークルを立ち上げてみませんか。

PCCカメラ女子部 Lumière

PCC女子サークル「ルミエール」の第3回目の活動は、7人+子ども2人で上野動物園を撮影しに行き、動物と子ども撮りのコツを勉強しました。



写真・文 のだまゆ



動物も子ども動きが早いのは同じ。シャッタースピード優先モードで撮る練習をしました



共通の話題があると仲良くなるのも早いです



みんなの撮り方が新しい発見になります

みんなはどうしてる？

「今年ももっと上達したい、気持ちだけで終わらせないために写真仲間ができた嬉しい」と新しく加入したメンバーも一緒に、日頃の撮影でのお困りごとを共有し、解決しながらランチ。参加者のひとりの大河原千絵さんはなんと「フォトブック甲子園」で入賞(入賞作品↓P21)した強者。家でも外でも、ふとしたしぐさを撮り逃さないようにしています。とフォトブックづくりのコツを教えてくださいました。

とにかく枚数を撮り、その日のうちに見返して、手もとに残したいものはフォトブックやプリントに。デジタルカメラはたくさん枚数が撮れるので、熱いうちの整理が

大切ですね。写真の残し方も話題になった会でした。

子ども撮りは予測力

「パンダが見えたね」子どもに話かけながら自然に撮影するメンバー。子ども撮影のコツは、話をしながら子どもの表情を予測してシャッターをきる。いい表情やしぐさ、その瞬間を逃さないために、シャッタースピードや露出補正など、瞬時に設定できるように日頃の特訓が必要。

第4回目の活動

[4月8日12:00～15:00
東京 新宿御苑]
桜の咲く新宿御苑でピクニックランチ。花撮影のコツを勉強します。お子さんと一緒に参加もOK。

PCC会員おすすめ写真クラブ

静岡「菊川フォトクラブ」

メンバーの写真を交代で展示
月1回の定例会と春と秋に1泊2日撮影旅行を開催し、奈良や長野などさまざまな場所風景撮影を中心に楽しんでいます。また、作品は毎年1月に開催される新春写真展や11月の文化祭で発表することができ、多くの方に見られる機会を持っています。さらに、文化会館や市内保養所のロビーにクラブメンバーの写真を交代で展示しており、地域に発表する機会と、交流の場になっています。
(代表 栗田幸市)



クラブのメンバーは現在約40名もいます



クラブ主催イベント 菊川市「棚田であぜ道アート」

宮城「駒美云」

東北の真ん中 栗駒山を舞台に活動
クラブ名の由来である東北の中心にある栗駒山と、山を囲む四県を主な範囲として、文化祭や写真展への出展を中心に活動しています。30年以上の歴史があるクラブですが、撮影会では初心者の方も楽しく撮影できるように、ベテラン会員がカメラの使い方などを優しく教えるので、誰でも気軽に参加できます。毎月の定例会では撮影地の情報交換や、作品をお互いに批評しあい、会員の技術向上を目指しています。
(代表 天道重明)



四季折々美しい表情をみせてくれる栗駒山



定例会も兼ねての食事会

なかも展サークル誕生物語

また会いましょう！
「コパン2011」

昨年8月に開催された「C」なかも展」のパーティーで写真が大好きなみなさんと出会い、「絶対に同窓会をしましょう」と盛り上がりしました。冬がくるころ、事務局の、のだまゆさんに呼び掛けてもらい、同窓会兼撮影会を新宿御苑で行いました。そして、素敵な出会いを大切にすべく、事務局のアドバイスを受けながらサークルを10人で結成。メンバーが3ヶ月毎に集まり、写真を撮りながら写真をサカナにわいわいと語られています。ウェブ写真館も立ち上げ、そこに写真を投稿し、みんな鑑賞もしています。先日全員の作品がウェブ写真館に載ったので、ぜひ観にきてください。
(「れこぼん2011」で検索)
<http://pccopan2011.blog.fc2.com/>
(代表 東田幸四郎)



サークル名の「コパン」はフランス語で「なかも」。メンバーは関東近辺から参加し、主に東京で活動しています。

みんなで新しい写真体験!
G 写真グランプリ
サミット 2012

グランプリ作品を見に来ませんか 会いに来ませんか

6月8日はGサミット2012に行く

アマ meets G
 Gサミット全国交流会

アマチュアのみなさんがグランプリ作品を見られる、グランプリ作品が撮れるようになる、グランプリ受賞者に出会える、コンテスト主催者に出会える全国のフォトコンテスト交流会。

カメラメーカーから最新情報を手に入れられ、著名写真家とお友達になれる。ご参加の際はご自分の作品を持ってきてください。著名写真家・メーカーの助言、旅のプロなどから被写体のアドバイスがもらえます。

開催日時:2012年6月8日 17:30~19:30
 開催場所:東京 日比谷グリーンプラザ
 参加費:3000円(定員50名)
 参加予定写真家:田沼武能、丹地敏明、沼田早苗、徳光ゆかり ほか



イメージ
 (昨年のPCCイベント)



「第4回川の国埼玉フォトコンテスト」ジュニア部門 最優秀賞 並木達郎さん



「第26回水とのふれあいフォトコンテスト」グランプリ 早川英夫さん

Gサミット2012写真展

開催期間:2012年6月8日~29日
 開催場所:東京 日比谷公園「みどりのプラザ」
 夏に東京、大阪で巡回展を開催します
 入場料:無料



ワークショップ

開催日時:2012年6月8日 15:30~17:00
 開催場所:東京 日比谷公園「みどりのプラザ」
 (無料:定員30名)
 基調講演:「展示作品の解説とフォトコン入賞のツボ」(講師:徳光ゆかり)
 講演の後に受賞者経験交流グループワーク



「東京百年撮影さんぽ」特別編

開催日時:2012年6月9日 9:00~12:00
 (イベント翌日)
 開催場所:東京 品川周辺
 時間と空間を散策できる撮影ツアー
 新製品の撮影機材の貸し出しもあります
 (無料:定員20名)



現場発の撮影テクと被写体発見術 『撮るなら フォトグラ』(仮)を出版

2012年6月刊
 内容:グランプリ受賞作品の掲載
 フォトコンテストの必勝ポイントを収録
 受賞者の撮影テクニックやノウハウを学ぶ

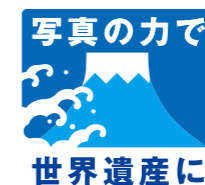


Gサミットとは?

- ①日本全国の著名なフォトコンテストのグランプリ作品が一堂に会します
- ②ワークショップや有名な写真家と会えるパーティを開催します
- ③グランプリ受賞者同士が刺激あふれる学びあう交流の場です
- ④さらにグランプリ作品を集めた『撮るなら フォトグラ』(仮)を出版します
- ⑤フォトコンテストの主催団体に、開催の告知や発表の場を提供します



参加者募集中 イベント参加申し込みは、PCCホームページまたは ☎03-3356-3552まで(定員に達し次第受付終了)



富士山を撮って応募しよう

「365日フォトコンテスト」風景部門・富士山

美しい地球を写そう、残そう

主催:フォトカルチャー倶楽部

2013年に富士山を世界遺産にする運動に「写真の力」で応援
 賞金・賞品総額は、なんと100万円相当! 富士山を撮ったら「365日フォトコンテスト」に!

あなたは
 何派? こんな富士を募集します

- ①「モロ富士」(富士山周辺から撮った富士山)
- ②「地元富士」(あなたの地元で撮った富士山 例:東京都心から撮った富士山)
- ③「車窓富士」(車や電車、飛行機の窓などから撮った富士山)
- ④「サービスエリア富士」(高速道路のサービスエリアから撮った富士山)
- ⑤「逆さ富士」(水面に映り込んだ富士山)
- ⑥「影富士」(そのものの姿ではなく、富士山の影を撮った写真)
- ⑦「むかし富士」(むかし撮った富士山 例:東京オリンピックと富士山)
- ⑧「山頂富士」(富士山に登らないと撮れない写真 例:富士山頂からのぞむご来光)
- ⑨「ふるさと富士」(例:蝦夷富士、津軽富士、讃岐富士など)



▼富士山写真を撮ったら

NPO法人 フォトカルチャー倶楽部 主催 365日フォトコンテスト2012春夏

作品募集

応募方法
 カメラのキタムラフォトコンテストが「365日フォトコンテスト」に名前をかえてリニューアル。腕自慢、腕だめしコースがあるので、どなたでもご応募できます。

【応募締切】2012年7月15日(日)まで

【応募方法】カメラのキタムラ店頭にて受付

【プリントサイズ】腕自慢コース:A4/4切/W4切
 腕だめしコース:A4/ハガキ/2L

【応募用紙】カメラのキタムラホームページからダウンロード、または店頭にてお求めください。

富士山写真は、応募用紙の腕自慢コース・風景部門に新設されたテーマ「富士山」に○を記入の上ご応募ください。

詳しくは [カメラのキタムラ](#) お客様なんでも相談室 TEL.050-3033-0066



「満月に照らされて」渡辺将司さん
 (カメラのキタムラフォトコンテスト2010秋冬 腕だめし部門
 テーマ:自然(いきもの・草木)グランプリ)

●他にもこんなにイベントがあります。



富士山巡回写真展

開催日:2013年6月より
 応募作品による写真展です
 写真展に出展した作品の一部は、額装して各国大使館に寄贈します

写真集 『富嶽三三景』の出版



2013年6月刊行
 コンテスト応募作品で写真集をつくります
 富士山にかかわるノウハウも掲載!

「富士山をきれいに撮り隊」で撮った

PCC賛助企業のクラブツーリズムは、初心者限定の富士山撮影ツアー「富士山をきれいに撮り隊」を実施。おすすめ撮影スポット10カ所を巡りながら、カメラ操作から撮り方のコツまでPCCフォトインストラクターがレクチャーしました。

※写真はイメージです。日程、内容は予告なく変更される場合があります。ご了承ください。
 ※賞金・賞品は「365日フォトコンテスト」風景部門の総額です。

詳しくは [フォトカルチャー倶楽部](#) [検索](#)

写真の力で 社会・文化・環境保護貢献

みんなで新しい写真体験を

NPO法人
フォトカルチャー倶楽部
会員募集中



会員の皆様からいただいた会費はPCCの活動を通して、上記のような目的で大切に使われています

社会が、笑顔が つながる、ひろがる



1 「花写真コンテスト」
入賞作品を福祉施設に寄贈
2009年から主催している「秋山庄
太郎記念「花」写真コンテスト」では
入賞作品を全国の福祉施設に寄
贈しています(→P8)



2 「写真年賀状コンテスト」
で日本の伝統文化を継承
応募作品1枚につき10円を東日本
大震災被災地に義援金として寄付
します(→P20)



3 「フォトブック甲子園」
開催で思い出を形に
残したい、見せたい、写真は一生の
宝物。フォトカルチャー倶楽部では「フ
ォトブック」という新しい思い出写真
の残し方を提案しています(→P20)



4 「美しい日本の風景
1000」出版
応募者自慢の撮影スポットを紹介。
いつまでも残したい自然風景を再
発見するとともに、作品応募料の一
部を環境保護活動に寄付します
(→P34)



5 各地開催フォトコンテストや
写真展に協力
「365日フォトコンテスト」の主催。ナ
ショナルジオグラフィック主催「国際
写真コンテスト」、プレジデント社主
催「環境フォト・コンテスト」、「日本
の祭り」フォトコンテストなどに協力

カメラを、写真を 学べる

1 著名写真家によるプライベート講評
(3枚セット7,000円)
丹地敏明先生、沼田早苗先生、福田健太郎先生、
秦達夫先生、田邊和宜先生、山本学先生など
の写真家が丁寧にわかりやすく講評
*応募用紙はHPからダウンロード、又はお電話でご請
求ください

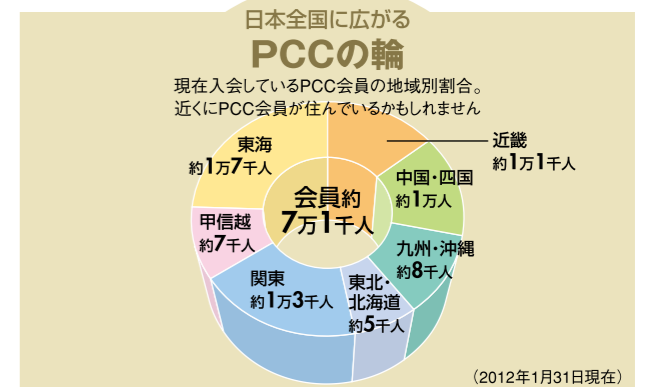
2 DVD写真アドバイス
毎月20名様限定。作品をDVD上で無料レッスン。
もちろん出来上がったDVDをプレゼント。官製は
がきに①郵便番号②住所③氏名④電話番号
⑤会員番号をご記入の上ご応募ください。抽選
で受講応募用紙をお送りします



仲間に、楽しさに 出会える

1 写真愛好家とプロ写真家の出会いの場に参加
日本を代表する写真家が集結。その場で写真家が作品を講評。ツーショット撮影もできるオ
リジナルイベントに参加できます(→P41)

2 会員サークルをつくる、参加する
会員が5人集まればサークルを立ち上げられます。また既存のサークルに参加することもで
きます。同じ趣味を持つ仲間と新しい写真ライフがはじまります(→P38)



他にも、さまざまな写真教室・撮影会をご紹介します。
写真の腕前がみるみる上達します(→P37)

会員特典

PCC会員なら
更新料(年会費)
1,500円



特典
その1 情報誌
『フォトライフ四季』
プレゼント

作品発表の場、交流の場、情報
満載の「フォトライフ四季」を年4
回ご自宅にお届けします



特典
その2 プリント商品・フィルムの10%割引

PCC会員証のご提示で、カメ
ラのキタムラなど協力店での
プリント商品が店頭価格より
10%割引になります

*協力店はHPでご確認ください
*他の割引との併用は不可
*店頭でお支払いされる場合のみ適用
*フィルムの割引はカメラのキタムラで
のみ適用



▲フォトブック各種



▲デジカメプリント/
銀塩プリント各種



▲クリスタル
プリント各種

特典
その3 賛助会員の特典利用

- カメラのキタムラレンタルショップで撮影機材のレンタルがネット表示価格の10%OFF
- こども写真館「スタジオマリオ」のお写真代10%OFF
(店頭でお支払いされる場合のみ適用・他の割引との併用は不可)
- スーパーホテルで通常宿泊費が30%OFF(曜日限定・学生・60歳以上の方対象・一部対象外施設あり)
*ご利用されるホテルにご確認ください
- ニッポンレンタカーでレンタカー利用基本料が約5%OFF
(一部対象外クラス・対象外地域あり)
- 休暇村協会主催の「自然とのふれあい写真教室」への参加費が500円引
などなど
*詳しくはHPをご覧ください

PCC
プレミアム会員なら
更新料(年会費)
4,000円



*2012年4月17日から
プレミアム会員年会費が4000円に変わります

PCC会員特典に加えて

特典
その4 撮影情報誌
『フォトコンライフ』
プレゼント

双葉社刊 定価1,400円の季刊
誌を年間4冊ご自宅にお届けしま
す



無料でお届けします
※入会時期により、
お届けする号が変わります



お申し込みは

カメラの
キタムラ カメラのキタムラ店頭で *手数料不要

口座自動振替払いで

☎ 必要書類をご請求ください
*手数料不要 *毎年の更新手続き不要

クレジットカード払いで

☑ ウェブでお手続きが可能です。または
☎ 必要書類をご請求ください *手数料不要

24
コンビニ振込で

☑ ウェブでお手続きが可能です。または
☎ 必要書類をご請求ください

郵便局振込で

☎ 必要書類をご請求ください

約2週間後に会員証・情報誌等をお届けします

フォトカルチャー倶楽部へのご入会・お問い合わせ先

特定非営利活動法人
フォトカルチャー倶楽部 事務局

TEL.03-3356-3552 <http://npopcc.jp>

フォトカルチャー倶楽部 検索

受付時間 10:00~18:00(土日祝は除く) [blog http://blog.canpan.info/npopcc/](http://blog.canpan.info/npopcc/)

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205

*ご入会後の、ご住所のご変更はお電話でお知らせください

知っ得!
各社のお客様相談窓口

Canon キヤノン お客様相談センター
コンパクトデジカメ
☎050-555-90005

デジタル一眼・交換レンズ
☎050-555-90002

Nikon ニコン カスタマーサポートセンター
☎0570-02-8000

FUJIFILM フジフィルム FinePixサポートセンター
☎050-3786-1060

PENTAX ペンタックス お客様相談センター
☎0570-001313

OLYMPUS オリジナル カスタマーサポートセンター
☎0120-084215

RICOH リコー お客様相談センター
☎0120-000-475

SONY ソニー お客様相談センター
製品問合わせ
☎0120-000-488

使い方問合わせ
☎0120-333-020

Panasonic パナソニック LUMIX で相談窓口
☎0120-878-638

キタムラグループ お客様さまなんでも相談室
☎050-3033-0066 (PCC会員専用)

※受付日時はそれぞれ異なります。
詳しくは各社ホームページをご確認ください。

キトリ

この1枚がデビューへの足がかり

「第15回 総合写真展」上位入賞者発表

(公財)国際文化カレッジが主催する「総合写真展」は、写真愛好家の皆さんに広く発表の場を提供する全国規模の公募展です。入賞者は作品デビューのチャンスも。第16回の応募は6月25日まで。まずは、下記へお問合せの上、詳しい出品要項をご請求ください。

全国公募 第16回 総合写真展
[出品要項 請求締切]6月11日まで
(公財)国際文化カレッジ
☎03-3360-1224



[内閣総理大臣賞]「祈り」木嶋洋太郎(茨城県)

カメラのキタムラご利用者で今回、上位入賞された方々

[内閣総理大臣賞] 木嶋洋太郎(茨城県)	瀬山光夫(群馬県)	菅沼美恵子(長野県)	二宮健一(広島県)
[東京都知事賞] 森田宏昭(山口県)	高野暢一(埼玉県)	齋藤公久(静岡県)	大島啓司(広島県)
[準大賞] 佐藤昌男(大分県)	富田美華(千葉県)	宮村博明(静岡県)	千田春雄(広島県)
[優秀賞] 平崎進(北海道)	数藤義孝(新潟県)	白井和利(愛知県)	若本達志(広島県)
山須田恵美子(北海道)	増田久幸(新潟県)	山形晃(愛知県)	久保祐一(徳島県)
横須賀淳(宮城県)	百々幹男(富山県)	木下博司(滋賀県)	今村脩一(愛媛県)
	中村祐次郎(石川県)	黒田収(滋賀県)	古川英司(福岡県)
	大塚雅洋(福井県)	松石剛(奈良県)	田丸克行(福岡県)
	山内和子(福井県)	松村康雄(島根県)	前田治(沖縄県)
	新井光司(長野県)	中井勝(岡山県)	(敬称略)

風景撮影旅行に必携

『平成百景を歩く』、『花の旅』発売中

ムック『平成百景を歩く』は読売新聞(朝刊・地域版)に連載していた「百景を歩く」をまとめた1冊。臨時増刊『花の旅』は月刊「旅行読売」でも人気の特集の完全保存版。2月下旬から7月に見ごろを迎える花スポットを全国から紹介します。花スポット周辺のグルメ、観光地情報も網羅。花の絵はがき付きです。



株式会社 旅行読売出版社
☎03-5847-8271
http://www.ryokoyomiuri.co.jp/

春に楽しむ写真とおきのネタ

『平成百景を歩く』では観光名所のおすすめ撮影ポイント、『花の旅』ではプロカメラマンによる、花スポット別の撮影のコツやアドバイスをご紹介していますので、ぜひ、春の撮影旅行にご活用ください!

写真のお悩みスッキリ解決

『PHaT PHOTO』3-4月号

人物、夜景、星空、動物…。撮りたいけれどうまく撮れなかったり、撮り方がわからなかったりすることはありませんか? そんな写真の撮り方に関するお悩みを、ジャンル別レクチャーでスッキリ解決! その他アンケートで集めた様々な疑問や質問を1問1答形式で答えるコーナーなど、写真で悩んでいるあなたにぴったりの1冊です。



株式会社シー・エム・エス
☎「PHaT PHOTO」編集部 03-5524-6991

春に楽しむ写真とおきのネタ

入園入学シーズンには子どもの写真をしっかり残してあげたい。陽射しの下は顔に影ができてしまうので、あえて少し暗い木陰で撮影するのがおすすめ。ホワイトバランスは「曇天」にすると、温かみがプラスできますよ!

ちょっと違うギフトにぴったり

オリジナルアイテム販売サイト「ARTAMIRA」

ARTAMIRAはメーカーと作家の協働によりアイテムが生まれる新たなブランドシステムです。他では手に入らないARTAMIRAのアイテムは、プレゼント&ギフトとして最適。事務所の移転お祝いや起業のお祝い、昇進、転職のお祝いなどに、普通とはちょっと違うプレゼントをしたい……そんなシチュエーションにぴったりのアイテムをご提供いたします。



株式会社フューチャー・デザイン・ラボ
☎アルタミラ お客様サポートセンター
03-5549-7583
http://artamira.jp

春に楽しむ写真とおきのネタ

春は、出会いと別れなどいろいろなドラマがありますね。記念の写真を添えて「ARTAMIRA」のグッズを贈るのもおすすめです。まずはサイトをのぞいてみてください。

PCC 賛助企業・団体の旬情報発信所

賛助企業 団体

NPO法人 フォトカルチャー倶楽部はたくさんの賛助企業・団体のご支援を受けて写真文化の普及に寄与しています

(五十音順・2012年1月31日現在)

【特別賛助企業】

カメラのキタムラ&スタジオマリオ

【賛助企業】

秋山庄太郎写真美術館

エコア株式会社

オリンパスイメージング株式会社

加賀ハイテック株式会社

株式会社 浅沼商会

株式会社 アビバ

株式会社 アルファパーチェス

株式会社 インプレスジャパン

株式会社 岡村製作所

株式会社 学研パブリッシング『CAPA』

株式会社 ケンコー・トキナー

株式会社 サティスファクトリーインターナショナル

株式会社 三栄書房

株式会社 シー・エム・エス『PHaT PHOTO』

株式会社 シグマ

株式会社 新東通信

株式会社 スーパーホテル

株式会社 タムロン

株式会社 ニコンイメージングジャパン

株式会社 ニッポン放送

株式会社 日本カメラ社

株式会社 日本写真企画『フォトコン』

株式会社 ビイ・エス・ティ

株式会社 ビックチャリングオンライン

株式会社 ファミリーマート

株式会社 フューチャー・デザイン・ラボ

株式会社 フレームマン

株式会社 プレジデント社

株式会社 ホリプロ

株式会社 リコー

株式会社 旅行読売出版社

株式会社 DNPフォトルシオ

カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

クラブツーリズム株式会社

コクヨファニチャー株式会社

小松印刷株式会社

スターツコーポレートサービス株式会社

スリープログループ株式会社

セコム株式会社

総合警備保障株式会社

ソニーマーケティング株式会社

千葉テレビ放送株式会社

日経ナショナル ジオグラフィック社

ハクバ写真産業株式会社

パナソニック コンシューマー

マーケティング株式会社 VE社

富士フィルム株式会社

ペンタックスリコーイメージング株式会社

ベルボン株式会社

マイクロソフト株式会社

マンフロット株式会社

名鉄観光サービス株式会社 梅田支店

【賛助団体】

財団法人 休暇村協会

【協力団体】

公益社団法人 日本写真家協会

公益社団法人 日本写真協会

社団法人 日本広告写真家協会

公益財団法人 国際文化カレッジ

公益財団法人 日本野鳥の会

日本旅行写真家協会



グランプリ受賞の佐藤さんは緊張しながら受賞のあいさつ



入賞者の皆さんは、自分の写真が額装して展示されているのを見て、笑顔になっていました(左から3番目から右へ、前田真三先生、グランプリ佐藤さん、ピアニスト中村さん)

懇親会では写真の話に花が咲きました

秋山庄太郎写真美術館 ☎03-3405-8578 http://akiyama-shotaro.com/

自分自身と対話するひとときを過ごす

秋山庄太郎写真美術館

当館は、写真芸術の振興に尽力した写真家・秋山庄太郎(1920~2003)のアトリエを改装したミュージアムです。秋山撮影の諸作品から、毎回テーマを定めて展示するほか、後援する写真団体やコンテストなどの作品展も開催しています。館運営のコンセプトは「こころの休み時間」。秋山が40歳を迎えた頃、自分を見つめ直すために過ごした4ヵ月間のヨーロッパ外遊にちなみ、これを運営の指針としました。ご来館の皆さまが、日常の喧騒から離れ、自分自身と対話できるひと時をお過ごしいただければ、と願っています。



4月1日から6月30日まで開催の企画展「えがおの日まで〜秋山庄太郎写真美術館の70年〜第2部」では、原節子(写真)などの女優ポートレートや「花」作品を展示します。開館時間は11時~16時30分(入館は16時まで、毎週土・日曜日開館)。

Canon

make it possible with canon

こども



大好キッス!

(それは、考えるカメラ)シーンを解析して自動設定。インテリジェントKiss X5 誕生。



◎シーンに合わせて簡単キレイな写真。シーンインテリジェントオート ◎自由なアングルで自在に撮影。ワイド3型・パリアングル クリアビュー液晶モニター
◎撮った写真をフィルター処理で、もっと印象的に。5種類のクリエイティブフィルター ◎最大約10倍の動画デジタルズーム搭載。進化した、フルハイビジョン「EOSムービー」
◎キレイを実感、高精細高画質。約1800万画素CMOSセンサー&映像エンジンDIGIC 4 ◎夕暮れや室内、暗いシーンでも、安心キレイに。常用ISO感度100~6400の広感度設計
◎EOS Kiss X5・ボディ ◎EOS Kiss X5・EF-S18-55 IS II レンズキット ◎EOS Kiss X5・ダブルズームキット *拡大率に応じて、動画の解像度は低下します。*液晶画面の写真はハメコミ合成です。

40 MILLION EOS SERIES 40年連続販売の信頼性 奇跡の地球物語 写真印刷 5000枚まで 3000円以下 送料別 ※送料別 ※送料別

ENJOY! PHOTO & MOVIE 楽しみながら撮影 楽しみながら撮影

HOME PAGE かんたん操作 かんたん操作

◎キヤノン EOS Kiss ホームページ canon.jp/kiss

◎キヤノン お客様相談センター デジタルカメラ **050-555-9000** 受付時間 平日 9:00~20:00 土日・祝日 10:00~17:00 (11~3は休まさせていただきます)

カタログは、canon.jp/catalogからダウンロードしていただくか、ハガキの場合は、住所、氏名、電話番号を明記の上、〒261-8711 千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンマーケティングジャパン(株)カタログ請求「EOS Kiss X5」係までお送りください。*カタログ請求を通じてお客様より任意でご提供いただいた個人情報は、カタログ送付の目的のみに使用いたします。

※海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は043-211-9556をご利用ください。*受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

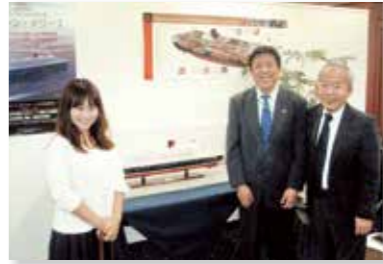
キヤノンマーケティングジャパン株式会社



1月20日 写真家・鈴木一雄さんの写真集「日本列島一季乃聲(きのこえ)」出版記念パーティで。



11月1日 読売新聞で行われた「よみうり風景写真コンテスト」の審査風景



10月3日 クラブツーリズム文化祭で。左からPCC野田、クラブツーリズム執行役員テーマ旅行部長・霜田正明さん、PCC松尾

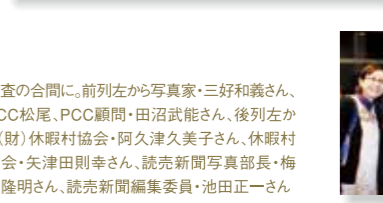
1月12日 写真家・秦達夫さんの写真展「山岳屋久島」記念パーティで、左から「フトライフ四季」編集部・菊池、PCC板見、秦達夫さん、PCC野田、写真家・佐藤かな子さん



左からPCC板見、鈴木一雄さん、「フトライフ」編集長・高作真紀さん



審査の間に、前列左から写真家・三好和義さん、PCC松尾、PCC顧問・田沼武能さん、後列左から(財)休暇村協会・阿久津久美子さん、休暇村協会・矢津田則幸さん、読売新聞写真部長・梅崎隆明さん、読売新聞編集委員・池田正一さん



審査の間に、前列左から写真家・三好和義さん、PCC松尾、PCC顧問・田沼武能さん、後列左から(財)休暇村協会・阿久津久美子さん、休暇村協会・矢津田則幸さん、読売新聞写真部長・梅崎隆明さん、読売新聞編集委員・池田正一さん



審査の間に、前列左から写真家・三好和義さん、PCC松尾、PCC顧問・田沼武能さん、後列左から(財)休暇村協会・阿久津久美子さん、休暇村協会・矢津田則幸さん、読売新聞写真部長・梅崎隆明さん、読売新聞編集委員・池田正一さん

散る桜 残る桜も 散る桜

PCC多事多忙録



11月1日 「年賀状を考える日」イベントで。左からカメラのキタムラ取締役・岩本満孝さん、カメラのキタムラ代表取締役社長・浜田宏幸さん、PCC松尾



11月23日 三好和義写真展「世界遺産 小笠原」にて。左から同写真集を持った三好和義さんとPCC小林



1月6日 写真家・水谷章人スポーツ報道写真展「瞬」で、左からコロンイメーティングジャパン取締役会長・西岡隆男さん、水谷章人さん、PCC松尾



1月8日 業界写真クラブにて、左から時計まわりでPCC野田、徳光ゆかりさん、PCC板見、キヤノンマーケティングジャパン・勝木繁夫さん

皆さんの写真送ってください

PCC会員と皆さんでつくる「フトライフ四季」に、お気に入りの写真を応募してください。

応募方法

プリントの場合:写真サイズ:はがきサイズ、2Lサイズ
写真の裏に必要事項(※)を貼付、ご郵送ください。
データの場合:写真サイズ:2MB前後(350dpiで10cm×15cm程度)
メールのタイトルに「フトライフ四季に載りたい」、本文に必要事項(※)を記入、送信してください。

※必要事項
①氏名(フリガナ)②〒住所③電話番号④希望のコーナー(表紙、P12、P24)⑤タイトル⑥撮影地⑦ひとことコメント(撮影の工夫やエピソードなど)

81号(2012年6月10日発行)掲載分は、3月20日
82号(2012年9月10日発行)掲載分は、6月20日まで

送り先

NPO法人 フォトカルチャー倶楽部
「フトライフ四季に載りたい」係
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205
☎03-3356-3552 Eメール satsuei@nppopc.jp
※使わせていただく場合のみご連絡いたします。お問合せはご遠慮ください。また、PCCブログに掲載させていただく場合があります。

募集のおさらい

表紙……………P1
PCC会員の腕自慢……………P12
被写体大辞典……………P24

ここにも募集があります

募集要項は各ページをご覧ください
PCC公募展「なま展」……………P28
「こころの風景2011」プレゼント……………P34
タムロンレンズ プレゼント……………P35
花ラベルワイン「ル・ブーケ」プレゼント……………P39
富士山を撮って応募しよう(365日フォトコンテスト)……………P40
Gサミット……………P41

日常写飯

一年の希望は春が決める

季節は必ず巡り、また春がやってきます。衝撃の一日からもう1年が経ちました。被災地に春を届けたいと、全国の会員の皆さんから届いた数えきれないほどの桜の写真。あの日、PCC事務局内にあたたかな気持ちが広がりました。

フォトカルチャー倶楽部の願いは、写真を通して会員の皆さんとともにあり、共に活動していくこと。今回とった統計で、全国各地の皆さんに会員になっていただいていることが改めてわかりました。

おひとりおひとりにフォトカルチャー倶楽部を身近な存在として感じていただきたいと、わずかな歩みではありますが、新たに名古屋で写真教室を設定いたしました。ぜひ新しい写真体験としてご参加ください。皆さんの願いやアイデアすべてを実現するにはまだまだ体力不足の組織ですが、一步一步前進するよう努めていきたいと思います。(須藤)

写真年賀状コンテスト

ご応募ありがとうございました



PCCも参加している年賀状普及協議会に寄せられた、「写真年賀状コンテスト」のみさんのハガキ。事務局の机がすっぽり埋まるほどの量の応募ハガキを見ると、毎日笑顔が絶えなかったそうです。(審査結果→P20)

軽いフットワークで
風景と対話する。



Photo : GF670W / FUJICHROME Velvia 50

タスマニアの東海岸は奇岩が続き、変化に富んだ、とてもよい撮影場所だが、足場が悪いので機材を持って歩き回るのは大変だ。ある日、GF670Wとフィルム20本を携えて撮影に出かけた。気が付いてみると、フィルムはすでに残り1本。一定の画角に集中できる固定焦点レンズの楽しさと、1キロほどの軽さに、僕はすっかり我を忘れて撮影に没頭してしまっていたのだ。重さを感じずに被写体との対話に専念できる、画角や機能に振り回されずに、自分の感性で振り回せる。僕にとってGF670Wは、そんな楽しさにあふれたカメラだ。



相原正明
プロフォトグラファー



55mmワイドレンズ搭載。6×7/6×6切替式フィルムカメラ「GF670W」。

●隅々まで歪みのない、シャープな描写。1:4.5 f=55mm 8群10枚構成、EBCフジノンレンズ●6×7cm判、6×6cm判切替可能●明るく見やすい高精度レンジファインダー●高性能電子制御式レンズシャッター●精密加工アルミダイカストボディ●操作性優先。“撮り”に徹したデザイン。

富士フィルムフィルムカメラホームページ <http://fotonoma.jp/filmcamera>

EBC FUJINON 1:4.5 f=55mm
GF670W
Professional

GF670W プロフェッショナル
オープン価格(ストラップ、リチウム電池付属)

※レンズフードはオプション(別売)

●お問合せは…富士フィルム株式会社 フィルムカメラお客様相談窓口 ナビダイヤル 0570-00-2236(携帯・PHSなど、ナビダイヤルをご利用いただけない場合はTEL.06-6260-0980)